枚　方　市　教　育　委　員　会
協　議　会　　資　料

案 件

1　枚方市教育委員会の主要事業の概要について

2　枚方市立禁野小学校新校舎整備事業の進捗状況について

3　叙勲について

4　GIGAスクール構想の推進における１人１台端末の更新について

5　今後の中学校部活動の在り方について

〇開催日　　令和６年（2024年）５月30日
〇開催場所　輝きプラザきらら３階　教育委員会室

教育委員会協議会資料

枚方市教育委員会の主要事業の概要について

総合教育部　教育政策課

１．概要

枚方市教育委員会の主要事業の令和６年度の概要について、別紙１「主要事業の令和６年度の概要」のとおり基本方策ごとにとりまとめましたので、報告します。

２．内容

別紙１のとおり

３．今後の予定

令和６年度の主要事業については、令和６年９月30日時点の進捗状況について、令和６年11月の教育委員会協議会で報告する予定です。

なお、令和５年度の主要事業の実績については、教育委員会委員のほか、学識経験者の意見を踏まえながら点検評価に取り組み、令和６年８月を目途に報告書をまとめます。

教育委員会協議会資料

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業の進捗状況について

都市整備部　施設整備課

総合教育部　新しい学校推進課

１．政策等の背景・目的及び効果

禁野小学校新校舎整備事業は、旧高陵小学校と旧中宮北小学校の学校統合に伴い、新校舎を建設するものであり、令和４年（2022 年）６月 10 日に前田組・浦辺設計共同企業体（ＪＶ）と契約締結し、設計施工一括型デザインビルド（ＤＢ）方式により事業を進めており、令和５年６月に基本設計のとりまとめが完了し、教育子育て委員協議会及び建設環境委員協議会に報告してきたところです。

この度、新校舎の実施設計のとりまとめが完了し、令和６年７月より建設工事に着手することから、進捗状況等について報告するものです。

２．内　容

別紙資料・・・枚方市立禁野小学校新校舎整備事業

３．実施時期等

（１）経緯

令和４年(2022 年)

６月１０日	定例月議会にて議決後契約締結、基本設計・解体計画着手
９月　８日	旧高陵小学校校舎解体工事説明会 開催 （対象：高陵幼稚園、こうりょう小規模保育施設）
９月２５日	旧高陵小学校校舎解体工事説明会 開催 （対象：周辺住民等）
１０月　８日	旧高陵小学校校舎解体工事説明会 開催 （対象：中宮第三団地Ｃ地区自治会）
１２月　１日	解体工事着手

令和５年(2023 年)

５月３１日	解体工事完了
６月	教育子育て委員協議会、建設環境委員協議会へ報告（基本設計等）
６月　９日	実施設計開始
７月　９日	基本設計等にかかる説明会　開催
９月２９日	文化財本調査着手

令和６年（2024 年)

２月１３日	文化財本調査完了
５月３１日	実施設計完了

（２）今後の取組（予定）

令和６年(2024 年)

６月１６日　建設工事等にかかる説明会　開催

７月　１日　新校舎建設工事着手

令和８年(2026 年)

７月 新校舎建設工事完了

８月 夏休み中に新校舎に引越し、２学期から授業開始

４．総合計画等における根拠・位置付け

総合計画　基本目標　安全で、利便性の高いまち

施策目標２　災害時に、迅速・的確に対応できるまち

基本目標　健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 11　すべての人がお互いに人権を尊重しあうまち

基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標 15　子どもたちが健やかに育つことができるまち

施策目標 16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

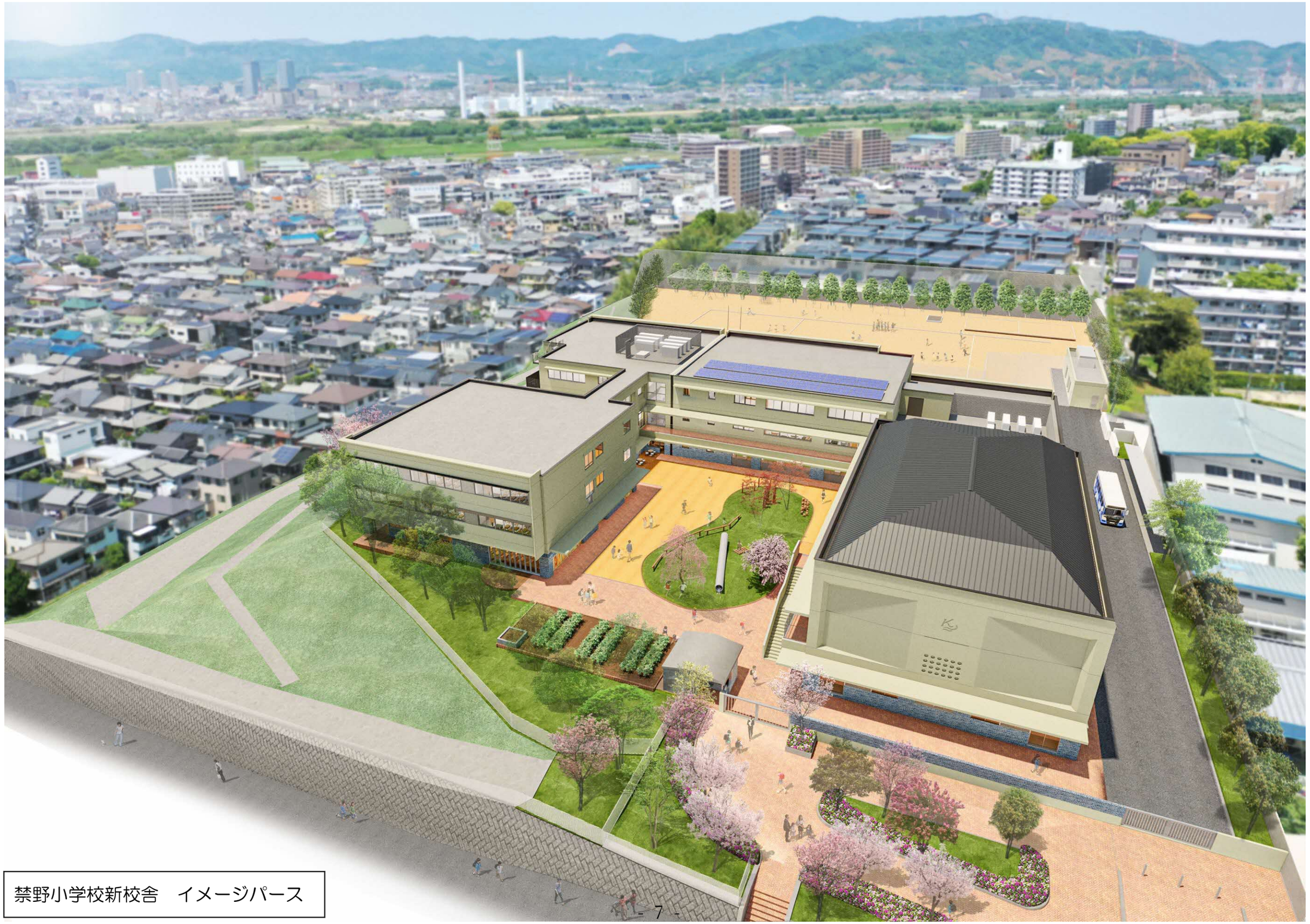
５．関係法令・条例等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律
学校教育法施行規則
義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令
枚方市立小学校及び中学校設置条例
小学校施設整備指針
枚方市のめざす学校像
禁野小学校における「新しい学校づくり」

６．事業費・財源及びコスト

《事業費》	設計・工事費（契約金額）	3,385,800千円
《財　源》	国庫補助金	1,270,241千円
	（内訳）	
	・学校施設環境改善交付金　（文科省）：	15,716千円
	・公立学校施設整備費負担金（文科省）：	1,254,525千円

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業



禁野小学校新校舎　イメージパース

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【事業概要】

○事業概要

（事業内容）　旧高陵小学校の校舎を全て解体し、その跡地に禁野小学校の新校舎を建設する。

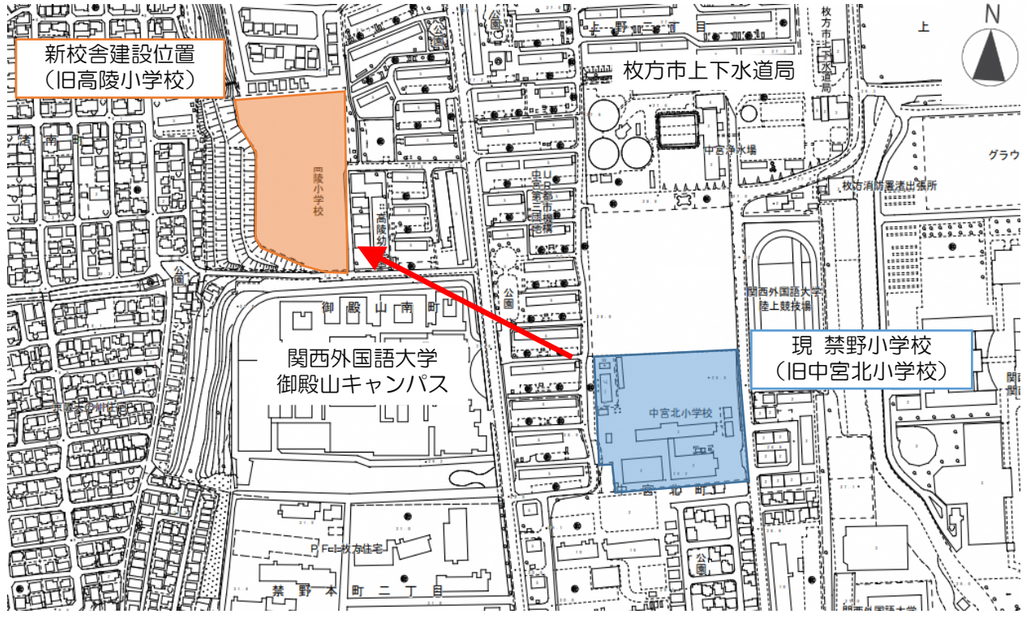
（事業手法）　設計施工一括型デザインビルド（DB）方式

（工　　期）　令和４年６月10日～令和８年７月15日
（令和８年８月供用開始）

（事 業 者）　前田組・浦辺設計共同企業体（JV）

（事 業 費）　3,385,800千円（契約金額）

（国庫補助金）　1,270,241千円



○スケジュール等

	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
設計 工事 文化財調査	6月 基本設計 旧高陵小学校校舎解体工事 試掘 12月	6月 実施設計 5月 9月 本調査 2月	5月 7月	新校舎建設工事	7月 ※現時点のスケジュールであり、現場状況等により変更となる場合がある。
年度毎 事業費	80,660千円	189,374千円	633,200千円	2,160,053千円	322,513千円
内 国庫補助金	－	－	250,905千円	1,019,336千円	－

○関係会議

新しい学校づくり協議会（計１４回開催）：両校区コミュニティ会長、禁野小PTA会長、学校長、本市（教育・施設）、JV

関係課会議　（計１５回開催）：学校長、本市（教育・施設）、JV

定例会議　（計３９回開催）：本市（施設）、JV

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【実施設計の概要】

○特色

●学校施設全体が学びの場

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（令和４年３月）に基づき、これまで教室と廊下で構成されてきた学校施設の固定概念から脱し、学校施設全体を学びの場として創造する。

旧両校の記憶

教室・ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ・多目的室

学校図書館

●ZEB Ready 達成

高効率設備や高断熱化の導入により、50%以上の省エネを達成することで、脱炭素社会の実現に貢献する。

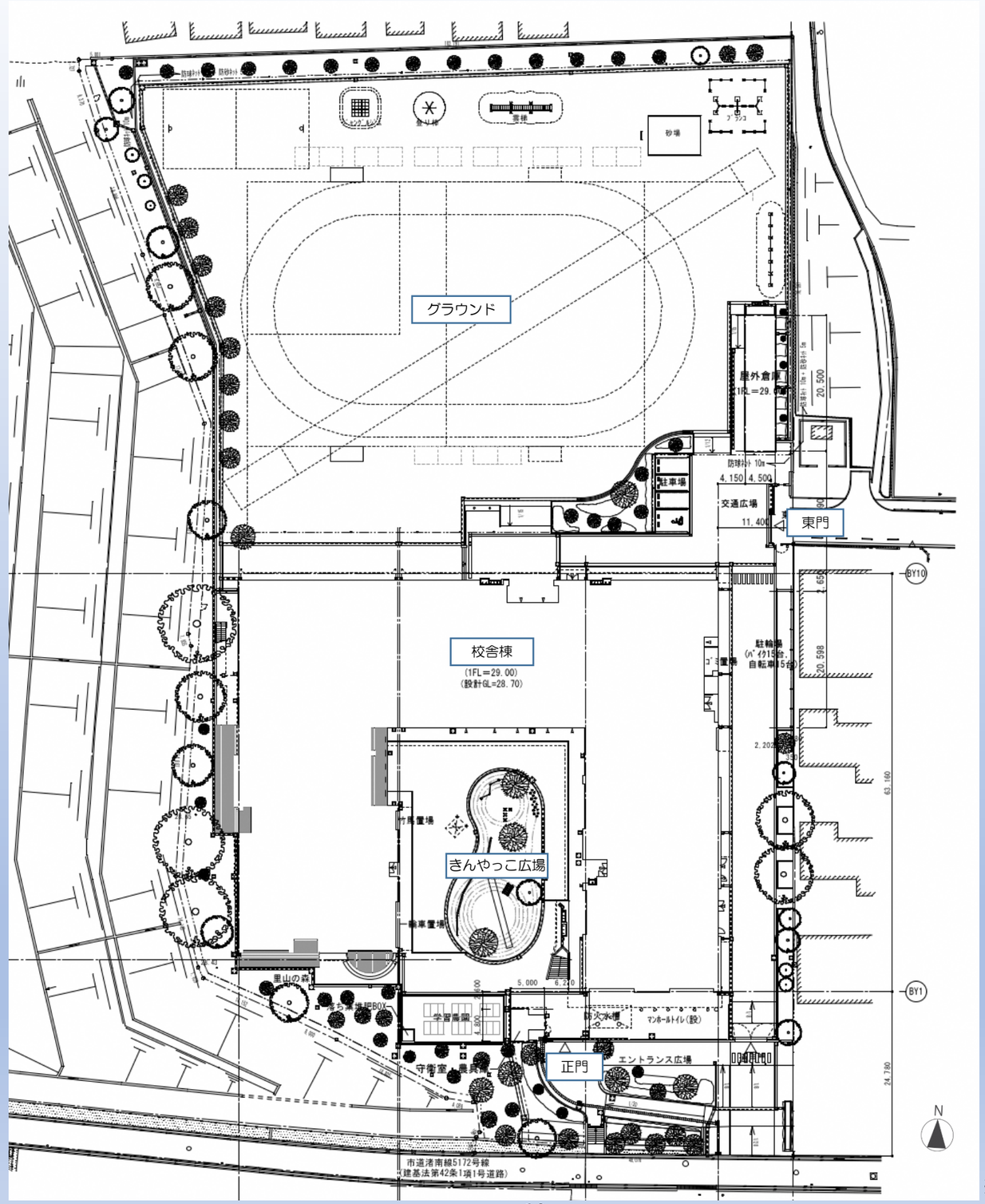
※ZEB Ready：外壁や屋上等の高断熱化、空調やLED照明等の設備機器の高効率化により、従来の標準的な建築物と比べ、エネルギー消費量を50%削減することを目標とする指標。

●木材利用

本市友好都市である四万十市産の木材を内装材として効果的に活用することで、温かみのある空間づくりをする。昭和57年に両市の中学生が「青少年友好の森」として植樹したヒノキも活用する。

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【実施設計の概要】

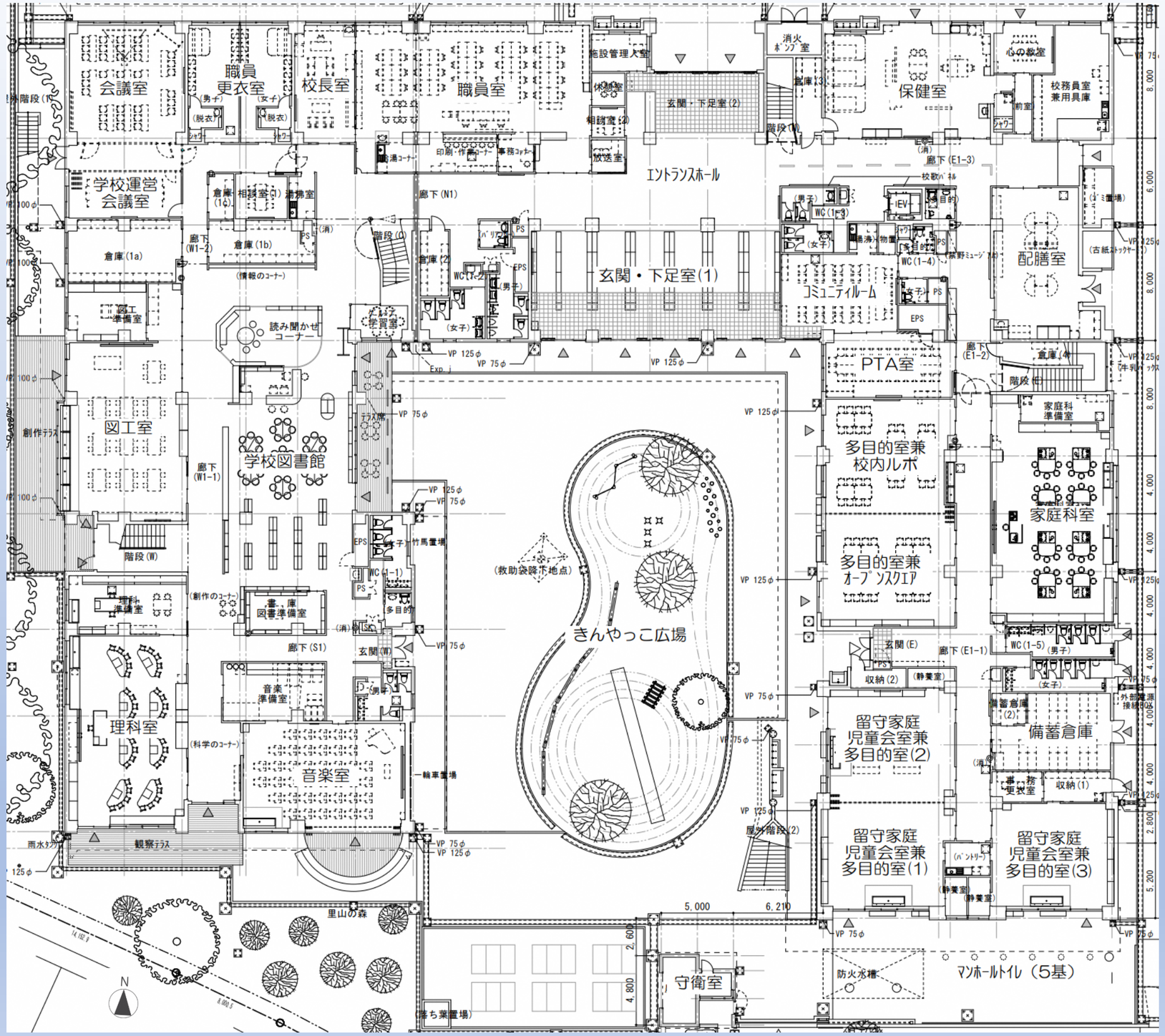
○配置図



※現時点での設計内容であり、詳細は変更となる場合があります。

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【実施設計の概要】

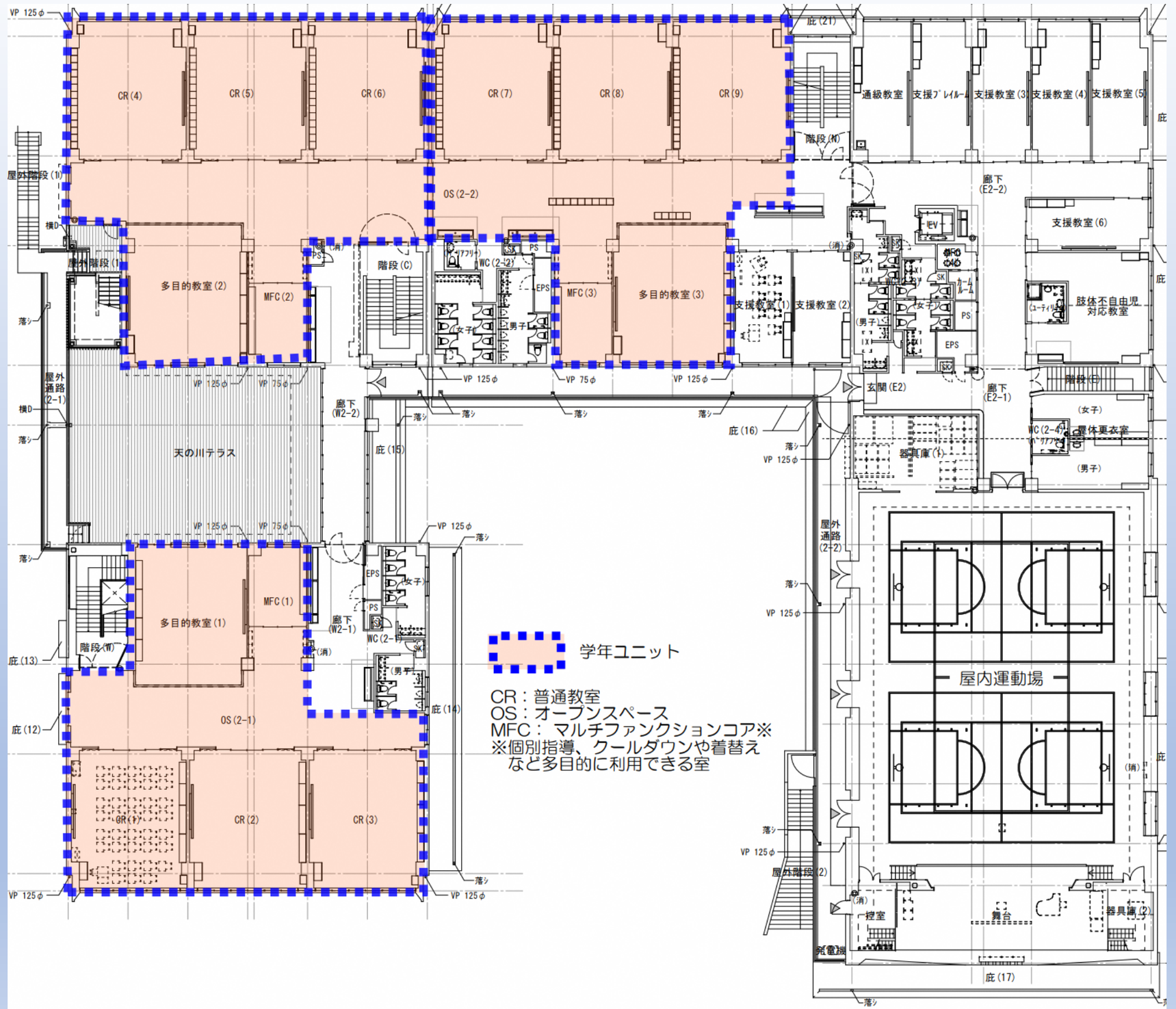
○１階平面図



※現時点での設計内容であり、詳細は変更となる場合があります。

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【実施設計の概要】

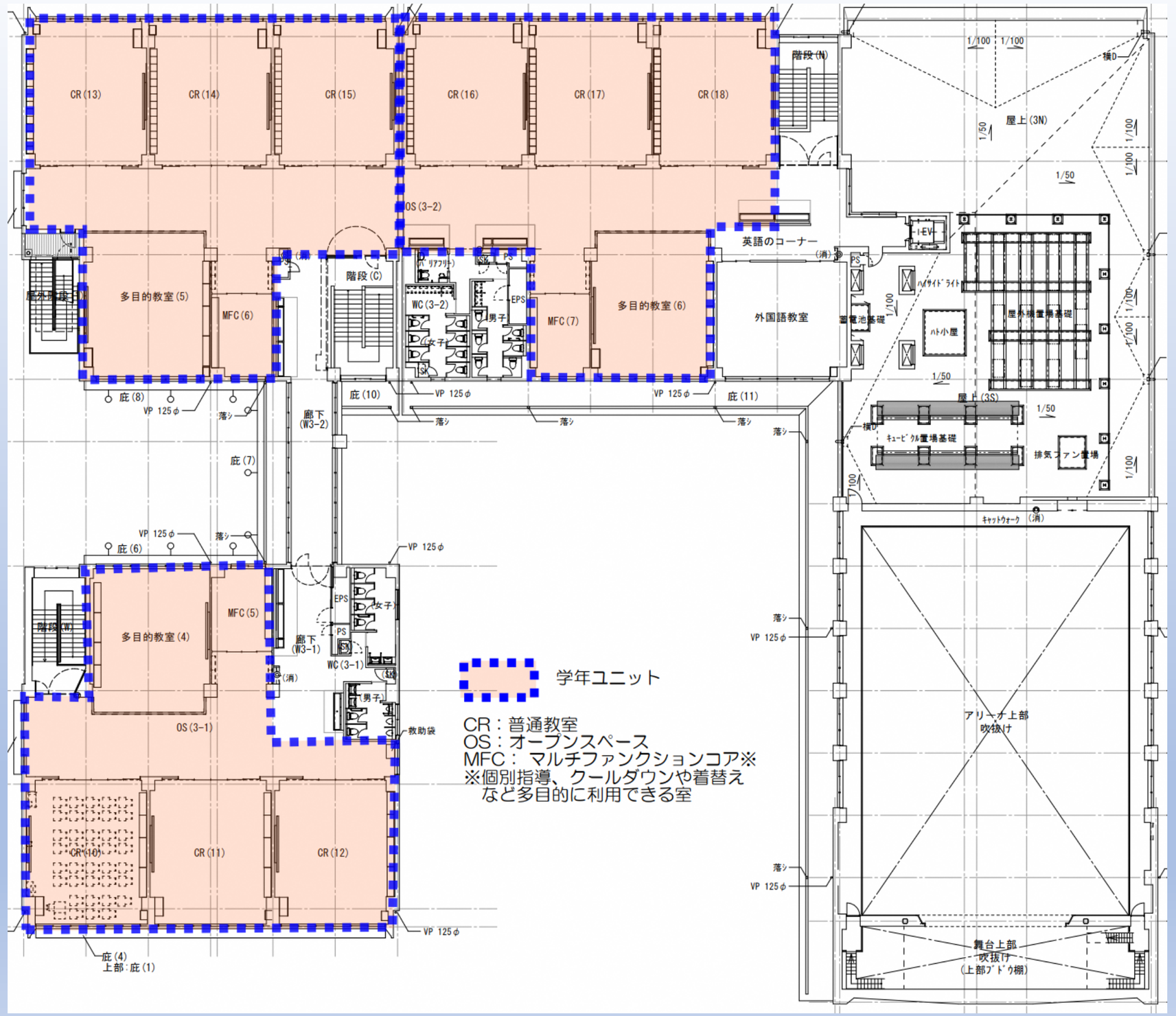
○２階平面図



※現時点での設計内容であり、詳細は変更となる場合があります。

枚方市立禁野小学校新校舎整備事業　【実施設計の概要】

○３階平面図



学年ユニット

CR：普通教室
OS：オープンスペース
MFC： マルチファンクションコア※
※個別指導、クールダウンや着替え
　など多目的に利用できる室

※現時点での設計内容であり、詳細は変更となる場合があります。

正門前では桜をバックに記念撮影

気軽に入れるオープンな学校図書館

野球やサッカー等が可能なグラウンドを整備

別紙

禁野小学校新校舎　イメージパース

6/16 公開予定

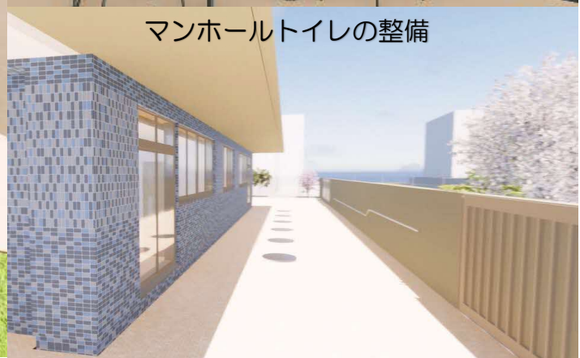
きんやっこ広場には様々な木製遊具を配置

理科室・家庭科室は教卓と児童が近くなるように
机を横向きにレイアウト

外国語教室は先進的な学習が可能なモデル教室

音楽室はテラスを設け屋内外で様々な学習が可能

コミュニティールームの整備


マンホールトイレの整備

教育委員会協議会資料

叙勲について

学校教育部　教職員課

１．概要

元枚方市立小学校長について、その功労に対し叙勲が行われましたので、報告するものです。

２．内容

令和６年春の叙勲　瑞宝双光章

元　枚方市立小倉小学校長　　後藤　武司　氏

３．その他

伝達式　令和６年５月 14 日

教育委員会協議会資料

GIGAスクール構想の推進における
１人１台端末の更新について

学校教育部　教育研修課

１．政策等の背景・目的及び効果

本市では、国のGIGAスクール構想に伴い１人１台のタブレット端末を賃貸借契約（５年）により令和２年度（2020年度）に導入しましたが、令和７年度（2025年度）に賃貸借契約期間が終了となることから、次期端末をどのように更新していくのか令和６年度（2024年度）の早い段階で決定していく必要があります。

このため、教育的な効果やコスト面など専門的・多角的な視点で、内外（小中学校や外部有識者）の意見を参考にして、子どもたちの教育に支障がないよう１人１台端末の更新を滞りなく進めることができるよう議論を重ねています。本件では、１人１台端末更新に向けた進捗状況を報告するものです。

２．内容

国では、１人１台端末を更新する手法として、都道府県内で端末及び契約形態が同じ自治体での共同調達を原則としております。しかし、本市では国の示す例外条件（オプトアウト）に該当するため、本市独自で契約手続きを行い、端末を調達します。

本件では、現在使用している端末の持つ機能を、通信環境、標準機能、高度な機能、支援に関する機能の４点に整理するとともに、次の端末更新の際に必要な機能について説明します。

（詳細については別添資料）

３．実施時期等

令和６年（2024年）６月　教育子育て委員協議会（機能について）
８月　教育子育て委員協議会（次期１人１台端末及び周辺機器について）
９月　補正予算要求（債務負担行為）
令和６年度中　契約手続
令和７年（2025年）７月～順次端末更新

４．総合計画等における根拠・位置付け

総合計画　基本目標　一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標16　子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

５．関係法令・条例等

学校教育の情報化の推進に関する法律

学校教育情報化推進計画

こども基本法

こども大綱

子どもを守る条例

６．事業費・財源及びコスト

令和６年度（2024年度）

特別職非常勤職員報酬等：1,056千円

７．資料

GIGAスクール構想の推進における１人１台端末の更新について

別添資料

GIGAスクール構想の推進における
１人１台端末の更新について

GIGAスクール構想の推進
～1人1台端末の着実な更新～

令和5年度補正予算額　2,661億円

文部科学省

事業内容・スキーム

公立学校の端末整備　予算額 2,643億円

- 都道府県に**基金（5年間）を造成**し、当面、**令和7年度までの更新分（約７割）に必要な経費**を計上。
- 都道府県を中心とした共同調達等など、**計画的・効率的な端末整備を推進**。

＜1人1台端末・補助単価等＞
- 補助基準額：5.5万円/台
- 予備機：15%以内
- 補助率：3分の2

※児童生徒全員分の端末（予備機含む）が補助対象。

＜入出力支援装置＞

視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒の障害に対応した入出力支援装置（予備機含む）の整備を支援。
- 補助率：10分の10

（基金のイメージ）

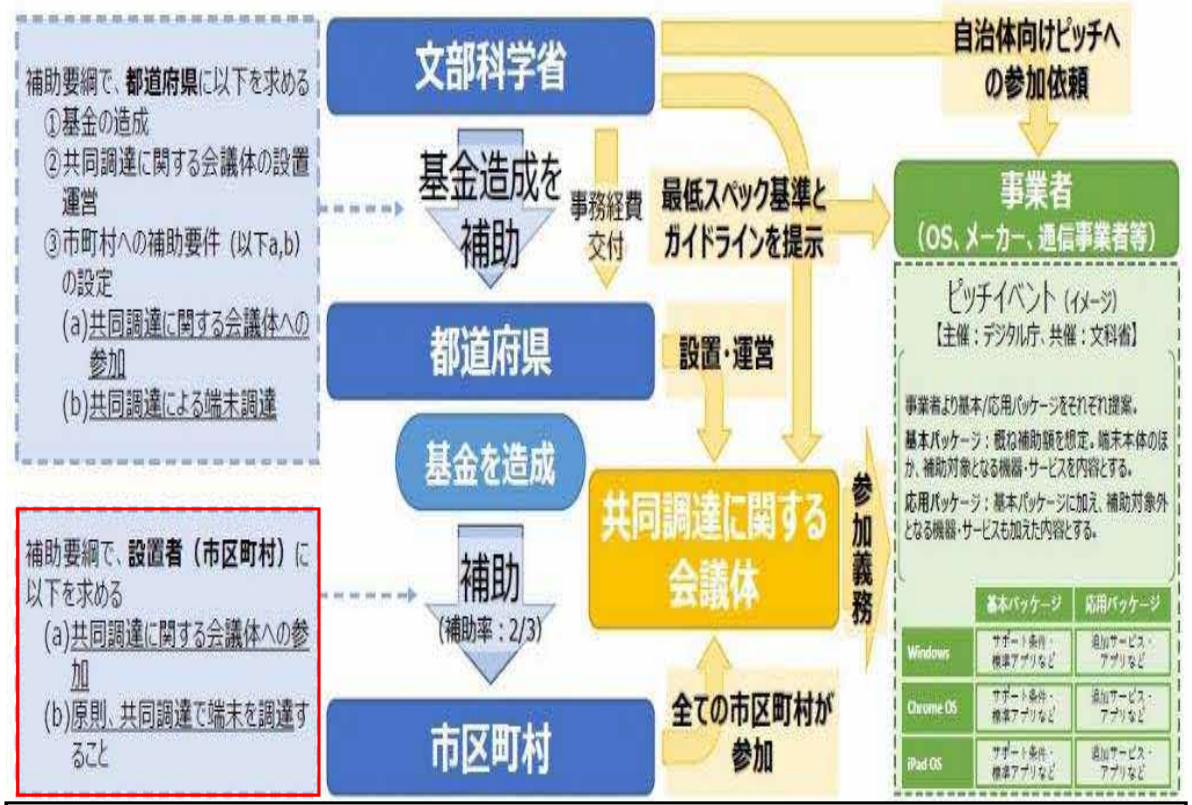
補助対象

①端末本体

以下についても端末と一体的に整備される場合には、「端末本体」として補助対象
- ハードウェアキーボード
- スタンド（iPadの場合）
- タッチペン
- 端末本体のカバー
- 画面保護フィルム
- OSメーカーが標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェア（学習用ツール）や、その利用のためのクラウドアカウント（※グレードやエディションによっては有償の場合もあり、買い切りの場合には補助対象となる。）

②設置・据え付け費
- 開梱
- 導入した機器への管理番号等を付したテープラベルの添付
- 端末本体等の導入の際に出た不要な梱包物の撤去・処理
- 端末を使用できるようにするための初期設定作業（キッティング）に係る費用

端末の共同調達スキーム



共同調達のメリット
- 端末調達に係る市町村の事務負担の軽減
- スケールメリットによる端末・サービス等の調達・ランニングコストの低減
- 共同調達を通じた端末利活用等に係るノウハウの共有による業務改善

共同調達をしない場合（オプトアウト）

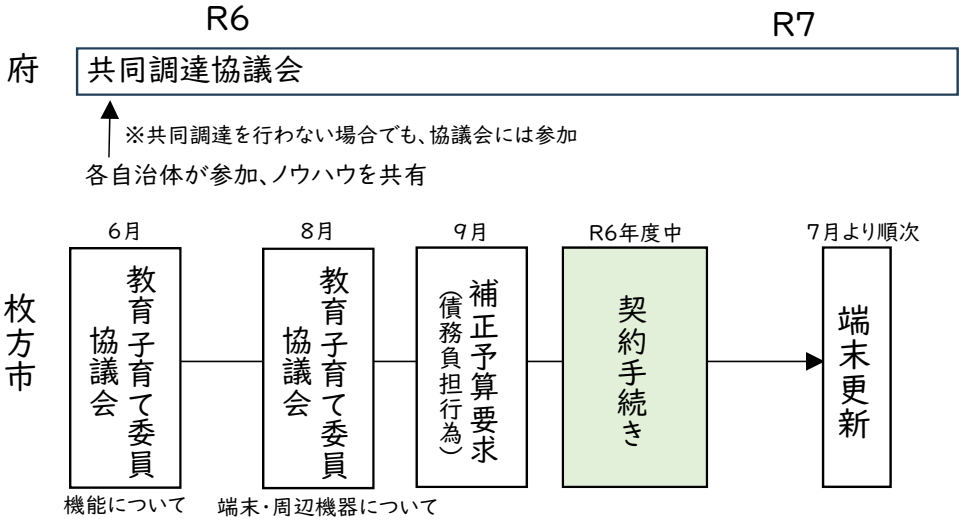
・契約課と連携を図りながら、端末本体だけでなく、周辺機器、学習支援ソフト等も一体的に調達。
・市スケジュールに則ったスムーズな契約手続きから端末更新

【共同調達に参加する必要がないこととなる条件（オプトアウトの条件）】

① 高度な教育を行うため、最低スペック基準を上回るスペックであって、かつ、共通仕様書に定めるスペックより高いスペックの端末を導入する必要があること。
② 共通仕様書に定めるスペックより低いスペックであって、かつ、最低スペック基準を満たすスペックの端末を導入する必要があること。
③ 地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市又はこれと同等以上の人口規模を有する市町村であること。
④ 令和6年度においては、同年度の途中に学校現場での調達端末の運用を開始する必要がある等、やむを得ない事情があること。
⑤ 都道府県が行う調達に係る契約が、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）第4条にいう「特定調達契約」に該当すること。
⑥ ある年度において、上記5点のいずれかに基づき共同調達に参加しないこととした調達設置者を除く調達設置者の中で、あるOSの端末の調達を予定する唯一の調達設置者であること。

令和6年4月17日改訂.「GIGAスクール構想の実現　学習者用コンピュータの調達等ガイドライン（令和6年4月17日）」より

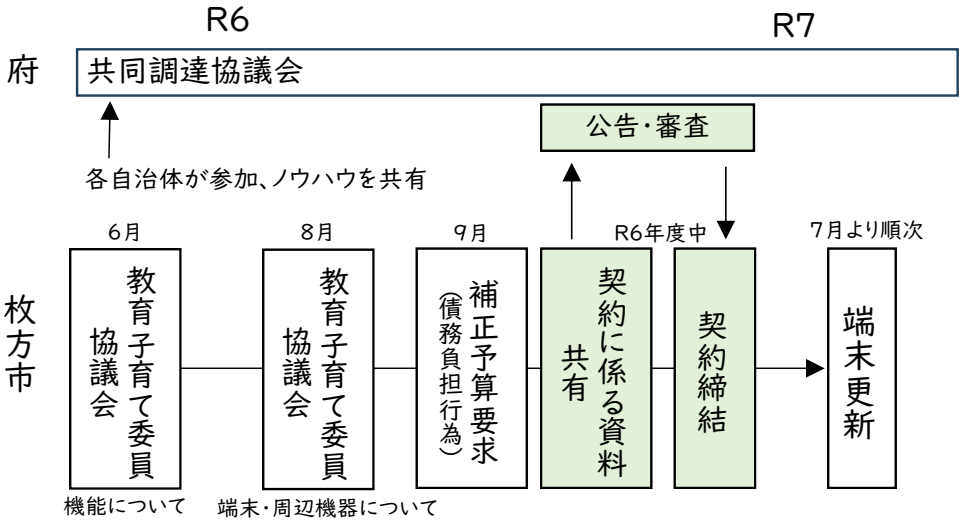
令和6年度に調達を行う市町村（4市）
枚方市（端末未定リース予定）、箕面市（Windows購入）、守口市（iPad購入）大阪市（オプトアウト）



枚方市は⑥のオプトアウト条件に該当するため、オプトアウトを行い本市独自で契約手続きから端末更新まで実施。

共同調達をする場合

令和6年2月29日実施.「第2回令和5年度補正予算案における1人1台端末の更新に向けたオンライン説明会（府主催）」資料より



共同調達会議の目的
・都道府県レベルでの端末の利活用の活性化に向けた大方針・グランドデザインの検討・策定
・域内外における先進的な取組の共有
・校務分野における業務改善に向けた取組の共有
・諸般の課題解決に向けた情報交換などを通じたICTによる域内の学校教育の改善・底上げ

1人1台端末更新の際に必要と考える機能一覧

機能	主な活用場面	活用場面の一例
① 通信機能	-	-
LTE通信	屋外での学習 校外学習 家庭学習 SNS相談 （紛失端末発見）	体育の授業で、体の動きを撮影し、クラウド上で共有し、技の精度を上げる。 校外学習で、展示物を撮影し、クラウド上で共有 QRコードを読み取り動画を視聴する。 Wi-Fi環境のない、または接続していない場合も、調べ学習や共同で資料編集を行う。 自宅からSOSを出しにくい児童・生徒も外から外部機関とつながり、早期発見・解決につなげる。 端末を紛失した際にも、遠隔でロックをかけたり、端末の場所を特定する。
② 標準機能	-	-
ウェブサイト閲覧	調べ学習	ウェブサイトから必要な情報を収集したり、動画視聴を通して理解を深める。
共同編集	課題作成	友だちと話し合いながら1つの資料を複数人で同時編集したり、コメントを書き込んだりする。
ビデオ会議	遠隔交流・授業配信	他府県や海外の児童・生徒や企業等とオンラインでつながり、交流したり、会議を行ったりする。 不登校ややむを得ず学校に登校できない児童・生徒がオンラインで授業に参加する。
スライド作成	プレゼンテーション	外国文化の紹介など、学習した内容をまとめ発表する。
文書作成	レポート作成	読書感想文や英語でのエッセイなど、学習した内容をレポートにまとめる。
表計算	表・グラフ作成	理科の実験結果や数学の関数などを表に整理し、グラフを作成する。
③ 高度な機能	-	-
動画制作	課題作成	海外の子どもたちに向けて日本文化や学校の様子を動画にまとめる。 問題の解き方の解説動画を作成する。
音楽制作	課題作成	学んだ内容を活用して作曲活動をおこなったり、原曲に伴奏を加える。
メタバース・AR（拡張現実）	交流・課題作成	メタバース空間にログインし、子どもたち同士で交流しながら、協力して創作活動を行う。 端末画面を通して3Dの生物や植物の細部を観察し、理解を深める。
④ 支援に関する機能	-	-
翻訳・聴覚・視覚支援等	交流、学習全般	外国にルーツを持つ児童・生徒が翻訳アプリを活用して、コミュニケーションを図ったり、学習の理解を深める。 聴覚障害の児童・生徒に対して、文字起こしアプリを活用してコミュニケーションを図ったり、学習の理解を深める。

参考

1人1台端末活用率の比較（府内自治体）

授業で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	94.0	6.1	0.0	0.0	0.0
	A市	89.6	8.4	2.1	0.0	0.0
	B市	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
iPad(Wi-fi)	C市	90.9	4.6	4.6	0.0	0.0
Chrome book(Wi-fi)	D市	76.7	22.1	1.2	0.0	0.0
	E市	77.4	14.3	0.0	8.4	0.0
Windows (Wi-fi)	F市	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0
	G市	41.7	35.6	19.2	3.6	0.0
	H市	83.4	12.5	4.2	0.0	0.0

自分で調べる場面で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	63.0	27.2	9.8	0.0	0.0
	A市	56.3	27.1	16.7	0.0	0.0
	B市	34.7	41.7	11.1	12.5	0.0
iPad(Wi-fi)	C市	67.3	28.2	4.6	0.0	0.0
Chrome book(Wi-fi)	D市	30.3	52.9	14.1	2.8	0.0
	E市	31.0	41.7	10.7	16.7	0.0
Windows (Wi-fi)	F市	8.4	58.4	8.4	25.0	0.0
	G市	20.1	47.3	18.5	14.3	0.0
	H市	50.0	33.4	12.5	4.2	0.0

まとめ、発表・表現する場面で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	55.5	27.6	13.2	3.8	0.0
	A市	50.0	25.0	20.9	4.2	0.0
	B市	59.7	34.7	0.0	5.6	0.0
iPad(Wi-fi)	C市	47.3	13.7	39.1	0.0	0.0
Chrome book(Wi-fi)	D市	23.0	29.8	30.1	14.5	2.8
	E市	27.4	14.3	34.5	23.8	0.0
Windows (Wi-fi)	F市	8.4	25.0	33.3	33.3	0.0
	G市	10.0	32.1	32.1	24.3	1.6
	H市	20.9	25.0	27.1	27.1	0.0

家庭学習で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	70.3	29.8	0.0	0.0	0.0
	A市	50.0	45.9	4.2	0.0	0.0
	B市	54.2	45.9	0.0	0.0	0.0
iPad(Wi-fi)	C市	40.2	23.5	36.3	0.0	0.0
Chrome book(Wi-fi)	D市	0.0	2.5	77.0	10.1	0.0
	E市	42.9	11.9	45.2	0.0	0.0
Windows (Wi-fi)	F市	25.0	66.7	8.4	0.0	0.0
	G市	17.6	29.5	53.0	0.0	0.0
	H市	37.5	47.9	14.6	0.0	0.0

子ども同士がやり取りする場面で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	48.3	31.0	5.3	6.4	9.1
	A市	45.8	27.1	8.3	4.2	14.6
	B市	34.7	29.2	25.0	0.0	11.1
iPad(Wi-fi)	C市	22.8	29.1	10.0	19.1	19.1
Chrome book(Wi-fi)	D市	18.7	33.7	17.6	6.8	23.3
	E市	31.0	27.4	15.5	0.0	26.2
Windows (Wi-fi)	F市	8.4	58.4	25.0	0.0	8.4
	G市	16.5	13.6	18.8	17.6	33.7
	H市	29.2	14.6	37.5	0.0	18.8

特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で端末を活用

端末情報	自治体名	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
iPad(LTE)	枚方市	44.5	23.1	25.0	7.5	0.0
	A市	25.0	33.4	25.0	10.4	6.3
	B市	5.6	27.8	43.1	0.0	23.6
iPad(Wi-fi)	C市	23.7	24.6	28.2	9.1	14.6
Chrome book(Wi-fi)	D市	6.1	22.1	43.0	19.4	9.6
	E市	35.7	21.5	31.0	8.4	3.6
Windows (Wi-fi)	F市	8.4	66.7	16.7	8.4	0.0
	G市	11.6	20.1	42.4	12.0	14.0
	H市	29.2	39.6	12.5	4.2	14.6

令和5年4月18日実施.「令和5年度全国学力・学習状況調査　学校質問紙」より

１人１台端末活用率の比較（全国）

授業で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		27.0ポイント高い	
ほぼ毎日	93.2%	⇐	65.2%
週3回以上	6.8%		25.4%
【中学校】		32.5ポイント高い	
ほぼ毎日	94.7%	⇐	62.2%
週3回以上	5.3%		24.1%

自分で調べる場面で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		23.2ポイント高い	
ほぼ毎日	52.3%	⇐	29.1%
週3回以上	38.6%		40.9%
【中学校】		44.8ポイント高い	
ほぼ毎日	73.7%	⇐	28.9%
週3回以上	15.6%		35.7%

まとめ、発表・表現する場面で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		30.9ポイント高い	
ほぼ毎日	47.7%	⇐	16.8%
週3回以上	34.1%		29.0%
【中学校】		47.3ポイント高い	
ほぼ毎日	63.2%	⇐	15.9%
週3回以上	21.1%		28.3%

家庭学習で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		67.5ポイント高い	
毎日持帰	100%	⇐	32.5%
【中学校】		59.1ポイント高い	
毎日持帰	100%	⇐	40.9%

子ども同士がやり取りする場面で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		24.5ポイント高い	
ほぼ毎日	40.9%	⇐	16.4%
週3回以上	38.6%		23.6%
【中学校】		45.5ポイント高い	
ほぼ毎日	57.9%	⇐	12.4%
週3回以上	21.1%		21.3%

特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		20.4ポイント高い	
ほぼ毎日	36.4%	⇐	16.0%
週3回以上	25.0%		29.0%
【中学校】		40.4ポイント高い	
ほぼ毎日	52.6%	⇐	12.2%
週3回以上	21.1%		23.5%

児童生徒の心身の状況の把握に端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		53.2ポイント高い	
ほぼ毎日	81.8%	⇐	28.6%
週3回以上	2.3%		2.7%
【中学校】		40.4ポイント高い	
ほぼ毎日	68.4%	⇐	28.0%
週3回以上	10.5%		2.9%

不登校児童生徒に対する学習活動等の支援で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		22.9ポイント高い	
ほぼ毎日	40.9%	⇐	18.0%
週3回以上	29.5%		10.7%
【中学校】		22.1ポイント高い	
ほぼ毎日	47.4%	⇐	25.3%
週3回以上	21.1%		12.8%

特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援で端末を活用

	枚方市		全国
【小学校】		32.3ポイント高い	
ほぼ毎日	63.6%	⇐	31.3%
週3回以上	22.7%		18.7%
【中学校】		35.5ポイント高い	
ほぼ毎日	63.2%	⇐	27.7%
週3回以上	15.8%		17.0%

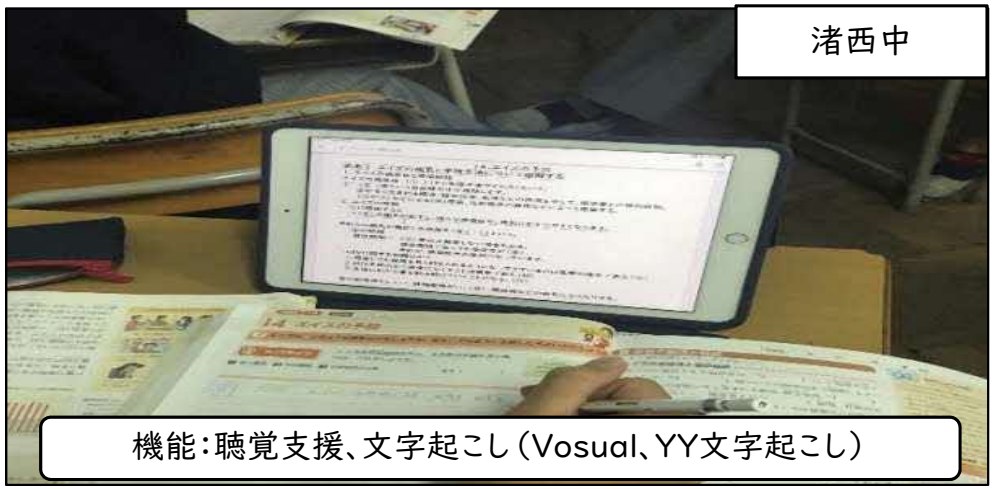
令和5年4月18日実施.「令和5年度全国学力・学習状況調査　学校質問紙」より

学びの保証

１人１台端末の活用事例

不登校・やむを得ず登校できない児童・生徒へオンライン配信

外国にルーツを持つ児童・生徒へ翻訳アプリの活用



聴覚障害の児童・生徒に対して文字起こしによる支援

文字だけでなく、映像や音声による支援により、認知機能を向上

個別最適

１人１台端末の活用事例

自分のペースに合わせて、知識の定着を図る

自分のペースに合わせて、タイピング練習に取り組む

思考ツールを活用して、情報を整理する

手本動画を視聴し、自分のペースで取り組む

協働

１人１台端末の活用事例

津田小

機能：共同編集（ロイロノート、Googleアプリ）

友だちと話し合いながら１つの資料を複数人で同時編集する

藤阪小

機能：一覧表示（ロイロノート）

他者の考えを参考に、自分の考えを練り上げる

楠葉西中

機能：一覧表示（ミライシード、Googleアプリ）

他者の考えを参考に、話し合いを深める

杉中

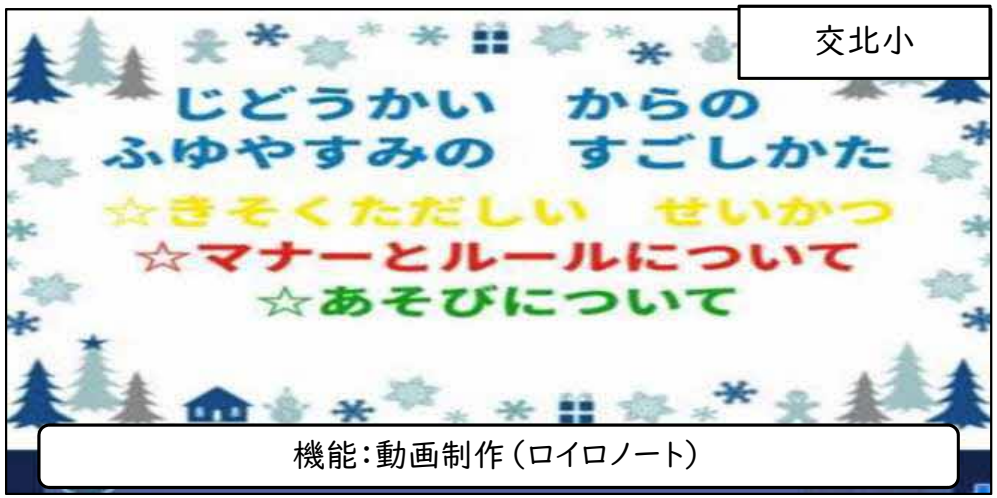
機能：共同編集（Googleアプリ）

友だちと話し合いながら１つの資料を複数人で同時編集する

動画制作

１人１台端末の活用事例

日本文化、学校紹介の動画を制作、海外の児童へ紹介



冬休みの過ごし方動画を制作、児童会役員が発信

流れる水の働きについて、説明動画を制作

インタビューや訪問内容をもとにPR動画を制作

音楽制作

１人１台端末の活用事例

様々な楽器でメロディを打ち込み、曲作り

好きな楽器を選んで、原曲に伴奏を追加

他教科で制作した画像にBGMを制作、追加

和音の音を使って、旋律を作成

遠隔授業

１人１台端末の活用事例

沖縄県名護市の小学生とオンライン交流

外国語科の授業でベトナムの小学生とオンライン交流

全学年をオンラインで繋いでSDGsサミット開催

企業、団体、公共機関とオンラインで繋いでジュニアEXPO

メタバース・AR

１人１台端末の活用事例

仮想空間「メタバース美術館」内で、カンボジアの子どもたちとオンライン交流

拡張現実アプリで、AR技術を体験

教育版マインクラフトを使って、オリジナルの街を建築

自宅や適応指導教室からマインクラフトに参加し、街を建築

プログラミング

１人１台端末の活用事例

ドローンの仕組みを学び、プログラムを組んで飛ばす

発電と電気の仕組みについて、プログラミングを用いて学習

多角形の性質について、プログラミングで学習

テキストコーディングでプログラムの仕組みについて学ぶ

屋外

１人１台端末の活用事例

藤阪小

機能：LTE通信＆一覧表示

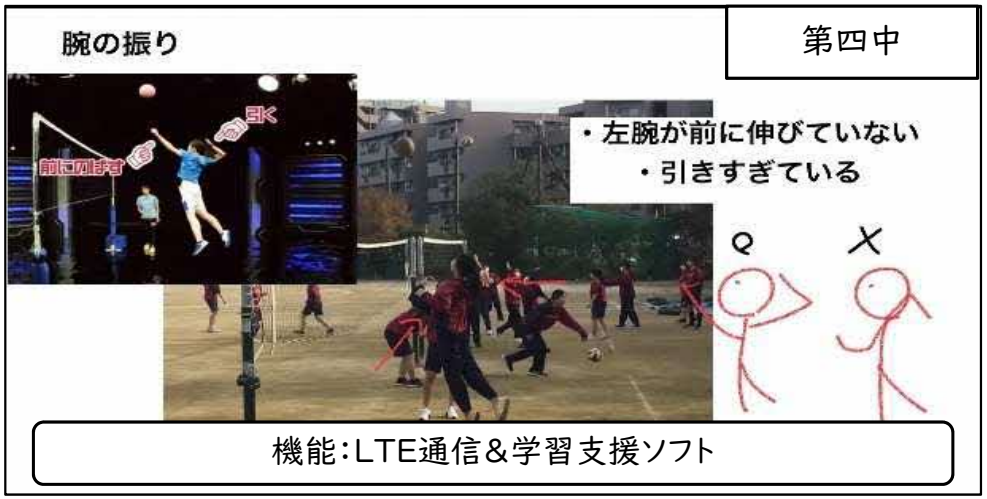
オンラインで自分の成果物を提出し、その場で他者からフィードバックを受ける

樟葉北小

機能：LTE通信＆学習支援ソフト

植物の観察写真を提出し、他者の資料を見ながら話し合う

第四中



機能：LTE通信＆学習支援ソフト

体の動きを撮影し、クラウド上で共有し、技の精度を上げる

機能：気持ちの視覚化、SNS相談（ぽーち）

気持ちの変化を早期発見、匿名相談

校外学習

１人１台端末の活用事例

展示物を撮影し、クラウド上で共有　QRコードを読み取り動画を視聴

地図アプリで目的地を検索　気になったことをその場で検索・共有

目的地までの行き方や気になった情報を調べる

展示物を撮影し、クラウド上で共有　QRコードを読み取り動画を視聴

校務

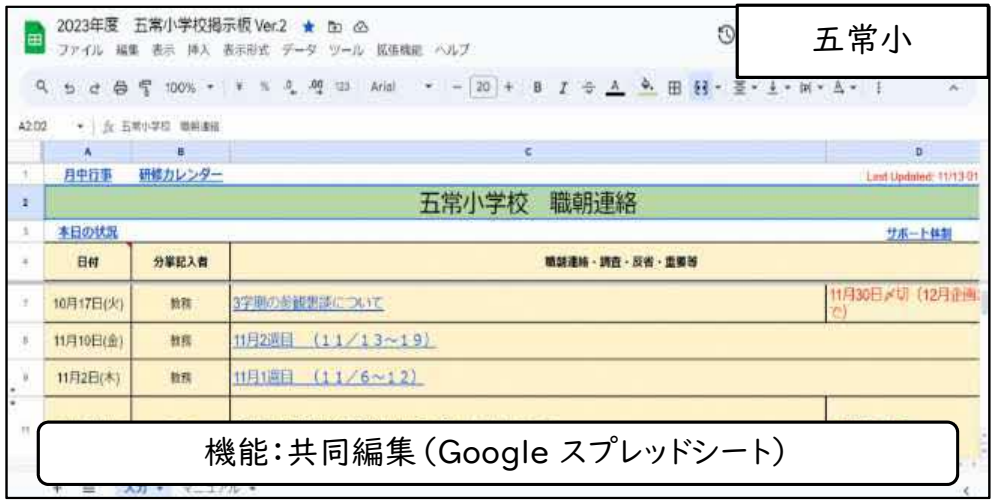
１人１台端末の活用事例

枚方第二小

機能：アンケート（Google Forms）

保護者、地域向けアンケートのデジタル化、瞬時に集計

五常小



機能：共同編集（Google スプレッドシート）

職員向けの一斉連絡を記載し、会議時間の削減

渚西中

機能：チャット（Google チャット）

授業の取組や教職員同士の日常的なやり取りを全員で共有

山田中

機能：ブラウザ（Google　サイト）

ポータルサイトを作成して、必要な情報に円滑にアクセス

ネクスト・ギガ・リプレイス意見聴取会の議論まとめ

意見聴取会委員

	名前	所属及び肩書き	委員構成
1	野中 健次	株式会社わけわけ 代表取締役社長	教育に関する専門的知識を有する者（授業改善）
2	山田 智子	小児発達学博士、臨床心理士	教育に関する専門的知識を有する者（支援教育、不登校支援）
3	礒﨑 大二郎	認定特定非営利活動法人カタリバ	教育に関する専門的知識を有する者（不登校支援）
4	野村 明央	元枚方市立小学校管理職	情報通信技術に関する専門的知識を有する者（デジタル・シティズンシップ、情報モラル）、教育情報化コーディネーター準2級
5	上田 泰丈	枚方市立東香里小学校 教頭	枚方市立の小学校及び中学校の校長又は教頭（組織マネジメント）
6	山田 大樹	枚方市立開成小学校 教諭	枚方市立の小学校及び中学校の教職員（授業改善）
7	佐納 達平	枚方市立中宮中学校 教諭	枚方市立の小学校及び中学校の教職員（授業改善）

【学びの在り方の変容】
・子どもたちが文房具として1人1台端末を活用
・AIも学びのパートナーとして子どもたち自身が自己調整しながら学習する。
・小学校入学時からの学習データが自動的に蓄積されることで、子どもたちが自身の成長を視覚化でき、常に目標や志を高く持ちながら学習する。
・子どもたちは、学びの繋がりを学級内に留まらず、日本国内や世界中の学校の子どもたちとオンラインで繋がり、意見や考えを共有しながら学習する。
【授業支援】
・子どもたちの学習に必要な動画や資料等がクラウド上にデータベース化されることで、教職員は子どもたちが主体的に学び方を選ぶ授業づくりを組み立てる。
・教職員は、AIがアシストした子どもたちの学習状況や理解度を参考に、授業づくりや個別への支援に役立てる。
・子どもたちの出欠状況や健康観察等は、データ連携によって不合理な手入力が不要となる。
・セキュリティが担保されたクラウドに情報を一元化することで、場所にとらわれない働き方を実現する。
【校務支援】
・保護者との連絡について、市内統一のデジタルシステムを活用することで、手紙を印刷する時間を削減したり、電話連絡等の業務を大幅に軽減したりする。
【学校に登校できない児童・生徒への対応】
・希望する児童・生徒に対して、オンライン授業を一層推進することで、学校に登校できない子どもたちも学びの選択肢を得る。

【動画】2030年の理想の学校教育（約6分）

※保護者同意後にモザイク加工を外し、情報発信する予定です。

内容

令和5年度

- 10/11 GIGAスクール構想と本市の現状について議論する
- 11/17 「誰一人取り残さない」ための1人1台端末の活用について議論する
- 12/13 枚方市教育理念を達成している子どもの姿や授業のあり方、教職員の資質・能力について言語化する
- 1/29 枚方市教育理念を推進するための1人1台端末の活用や環境整備を明確化する
- 2/14 現状と理想のギャップを明確化し、それらを埋める手立てを考える
- 3/22 これまでの議論をまとめた教育DXのあり方を確認する

令和6年度

- 4月～6月 枚方市における教育DXを実現するためのハード面（ネットワーク環境、学習支援ソフト等）についてさらに議論を深める

全会議を通して：教職員の資質・能力、授業改善・家庭学習、支援教育、不登校支援、働き方改革・業務改善、健康等の課題と今後のアクションを共有

学習者用コンピュータ最低スペック基準　※GIGA第2期：令和6年度～令和10年度（それ以前はGIGA第1期）

OS	iPadOS
CPU	——
ストレージ	64GB以上[11]
メモリ	——
画面	10～14インチ、タッチパネル
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac以上
周辺機器	ハードウェアキーボード及びタッチペン
カメラ機能	インカメラ及びアウトカメラ
スタンド	利用時に端末を自立させるためのスタンドを用意すること（キーボードがスタンドになる場合は別途準備する必要はない）
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子を１つ以上有していること（マイク・ヘッドフォン端子がコネクタと共用になっている場合は分配アダプタで対応）
外部接続端子	Lightningコネクタ又はUSB2.0以上の規格であってUSB Type-C PD(Power Delivery)に対応したポートを１つ以上有していること
バッテリ稼働時間	８時間以上
重さ	1.5kg程度を超えないこと（本体及びハードウェアキーボード）
端末管理機能	以下の設定をネットワークを介して行うための端末管理機能（MDM）を有していること[12] ・端末の機能制御設定 ・端末が利用するApp/Bookの配信 ・接続先ネットワークの制御 ・紛失・盗難時のセキュリティ設定（強制ロック、強制ワイプなど）
その他	１　端末を適切に運用するための以下の機能を有していること[13] （１）端末の稼働状況を把握できる機能 （２）適切なセキュリティ対策としての以下の機能 ・マルウェアから端末を保護する機能 ・ストレージにデータを暗号化して保存する機能（必要に応じて利用可能であればよい） ２　OSメーカー（端末のOSと異なるものでもよい）が標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェアを学習用ツールとして整備すること

OS	ChromeOS
CPU	Intel Celeron Processor N4500と同等以上 ※Intel社製に限定するものではない。
ストレージ	32GB以上[7]
メモリ	４GB以上[8]
画面	10～14インチ、タッチパネル
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax以上
周辺機器	ハードウェアキーボード及びタッチペン
カメラ機能	インカメラ及びアウトカメラ
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子を１つ以上有していること
外部接続端子	USB3.0以上の規格であってUSB Type-C PD(Power Delivery)に対応したポートを１つ以上有していること
バッテリ稼働時間	８時間以上
重さ	1.5kg程度を超えないこと（本体及びハードウェアキーボード）
端末管理機能	以下の設定をネットワークを介して行うための端末管理機能（MDM）を有していること[9] ・端末にログイン可能なユーザに関する制御設定 ・端末が利用するソフトウェア、拡張機能等の配信設定 ・接続先ネットワークの制御 ・紛失・盗難時の制御設定
その他	１　端末を適切に運用するため以下の機能を有していること[10] （１）端末の稼働状況を把握できる機能 （２）適切なセキュリティ対策としての以下の機能 ・マルウェアから端末を保護する機能 ・ストレージにデータを暗号化して保存する機能（必要に応じて利用可能であればよい） ２　OSメーカー（端末のOSと異なるものでもよい）が標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェアを学習用ツールとして整備すること

OS	Windows 11 Pro/Education相当
CPU	Intel Celeron Processor N4500と同等以上 ※Intel社製に限定するものではない。
ストレージ	64GB以上[2]
メモリ	８GB以上[3] [4] ※ブラウザ上での活用（Microsoft 365 Web版等）が前提かつ活用実態上支障が無いと判断した場合には４GBのメモリも許容する。
画面	10～14インチ、タッチパネル
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax以上
周辺機器	ハードウェアキーボード及びタッチペン
カメラ機能	インカメラ及びアウトカメラ
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子を１つ以上有していること
外部接続端子	USB3.0以上の規格であってUSB Type-C PD(Power Delivery)に対応したポートを１つ以上有していること
バッテリ稼働時間	８時間以上
重さ	1.5kg程度を超えないこと（本体及びハードウェアキーボード）
端末管理機能	以下の設定をネットワークを介して行うための端末管理機能（MDM）を有していること[5] ・端末制御などのポリシーの設定 ・端末が利用するソフトウェアの配信設定 ・接続先ネットワークの制御 ・紛失・盗難時の制御設定
その他	１　端末を適切に運用するための以下の機能を有していること[6] （１）端末の稼働状況を把握できる機能 （２）適切なセキュリティ対策としての以下の機能 ・マルウェアから端末を保護する機能 ・ストレージにデータを暗号化して保存する機能（必要に応じて利用可能であればよい） ２　OSメーカー（端末のOSと異なるものでもよい）が標準的に提供する教科横断的に活用できるソフトウェアを学習用ツールとして整備すること

1人1台端末基本ソフトウェア比較表

項目		iPad	Windows	Chromebook
基本機能		-	MS365 AI	Google Workspace
	ブラウザ	Safari/Chrome	Edge/Chrome	Chrome
	コミュニケーション	スクールワーク	Teams	Goofle Classroom
	ビデオ会議	Facetime	Teams	Meet
	スライド作成	Keynote	PowerPoint	Google スライド
	文書作成	Pages	Word	ドキュメント
	表計算	Numbers	Excel	スプレッドシート
	フォーム	-	Forms	フォーム
創作活動		-	-	-
	動画制作	iMovie、Clips	Microsoftフォト	Googleフォト ※クロマキー合成等不可
	音楽制作	GarageBand	-	-
	描画制作	フリーボード	ペイント	Chrome描画キャンパス
	プログラミング	Swiftplaygrounds	Made Code	Grasshopper
ファイル				
	クラウド	iCloud	OneDrive	GoogleDrive

教育委員会協議会資料

今後の中学校部活動の在り方について

学校教育部　教育指導課

１．政策等の背景・目的及び効果

本市における中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に添った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めています。

このたび令和５年（2023年）１１月に行った児童生徒対象のアンケートの結果や令和６年（2024年）１～３月の試行実施（自由体験型地域部活動（大学との連携））の実績をもとに、令和６年度の試行実施（案）をお示しするものです。

２．内容　　資料１参照

（１）試行実施（案）等について

①　統括団体によるクラブ運営型　（９月からの予定）

②　学校部活動・地域部活動　組み合わせ型　（９月からの予定）

③－１　自由体験型 地域部活動（体験型）（６月からの予定）

③－２　自由体験型 地域部活動（レア型）（９月からの予定）

※枚方市中学校部活動の在り方懇話会については、令和６年度は５回開催する予定

（２）その他

ひらかたモデル策定について

３．総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち

４．関係法令・条例等

学習指導要領【平成29年度（2017年度）告示】

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

【令和４年（2022年）12月】

枚方市中学校部活動方針

５．事業費・財源及びコスト

令和６年度

≪事業費≫　１１，７７２千円

支出内訳　懇話会報償金　３８０千円（9，５００円×８人×５回）

大学への報償金　８００千円（１０，０００円×８クラブ×１０回）

委託費　5，１１８千円

旅費　５００千円

部活動指導員の報酬等　４，９７４千円

≪財源≫　一般財源　１１，７７２千円

別途、地域クラブ活動体制整備事業補助金を申請中

６．資料

中学部活動の在り方について【資料１】

中学校部活動に係るアンケート結果【参考資料１】

令和６年１月から３月の試行実施について【参考資料２】

枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ【参考資料３】

資料１

【学校教育部】今後の中学校部活動の在り方について

令和６（2024）年５月

１．めざす姿

少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保
地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子ども達の多様な体験機会を確保

２．児童生徒アンケート結果について（参考資料１）

（小学校5,6年生） 対象：6729人　回答：4196人（回答率62%）

○別の学校の児童と活動することをどう思うか？→肯定的回答 75%
○地域クラブ活動に参加したいか？　→家の近くなら参加したい34%
○休日にあれば活動してみたいクラブは？　→漫画アニメ 料理手芸 バドミントン 技術工作 ダンス バスケットボール サッカー コンピュータ

（中学生） 対象：9916人 回答：5466人（回答率55%）

○部活動に入っている目的は？（複数回答可）　→友達と楽しく活動するため(3119人) 体力・技術を向上させるため(2418人)
○指導者に何を期待しているか？（複数回答可）→体力・技術が向上できる(2298人) 部活動をもっと好きになる(1770人) 専門的な技術指導が受けられる(1471人)

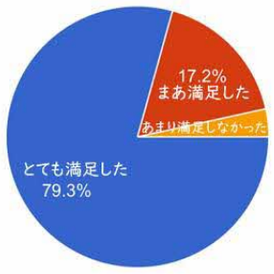
○別の学校の生徒と活動することをどう思うか？→肯定的回答 74%
○地域クラブ活動に参加したいか？　→家の近くなら参加したい 25%
○休日にあれば活動してみたいクラブは？　→テニス バドミントン 漫画アニメ バスケットボール ダンス バレーボール 軽音楽・音楽 サッカー 料理・手芸 ソフトテニス

３．令和６年１月～３月の試行実施のまとめと課題（参考資料２）

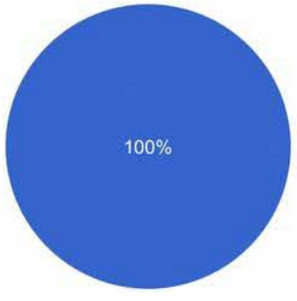
③-2 自由体験型 地域部活動（体験型）

のべ参加人数：64人
アンケート回収人数：29人

活動の満足度



また参加したいか



見えてきた課題
活動場所
マインドセット
周知方法
日程
覚書の締結
技術の習熟 等

４．枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ（参考資料３）

・事件・事故を未然に防ぐという視点から、指導者だけでなく、コーディネーター等を置くと良い。指導者を統括しサポートする団体の責任者・管理者の役割が重要。
・参加する生徒にとって平日及び休日の活動方針が共通していないと混乱をきたす。指導者間の生徒も含めた情報共有は重要。
・休日における地域クラブでの指導を、部活動としての平日の練習に活用している例もある。
・指導者の方に最新の指導方法、救急時の対応などを知る機会を作ってほしい。
・適切な指導者を選考、配置していった方が良い。
・学校部活動にはない競技を希望する子どもたちの為の地域移行はあって良い。

５．令和６年度　試行実施について

人材バンク（研修含む）
事務局
参加者登録

研修内容：
指導について・ハラスメントについて（各2回計4回）

調査事業
・指導者の確保について ・費用について
・参加生徒の満足度について
・地域資源について 等

連携

各競技団体
中体連各競技役員なども含む

協議

教育委員会事務局
市長部局

① 統括団体によるクラブ運営型

9月から実施予定
コーディネーター配置（管理責任）
休日のみ

クラブA 指導者2人 種目○○
クラブB 指導者2人 種目○○
クラブC 指導者2人 種目○○

指導者は、統括指導者＋1名

参加料 なし

会場：○○中学校

③-1 自由体験型 地域部活動（レア型）

9月から実施予定
休日のみ

ダンスクラブ
指導者2人
指導者は、統括指導者＋1名

会場：教育文化センター等

参加料 あり

③-2 自由体験型 地域部活動（体験型）

年10回程度

関西外国語大学
大阪工業大学
摂南大学

参加料 なし

令和6年1月～3月に試行実施済

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型

平日含む

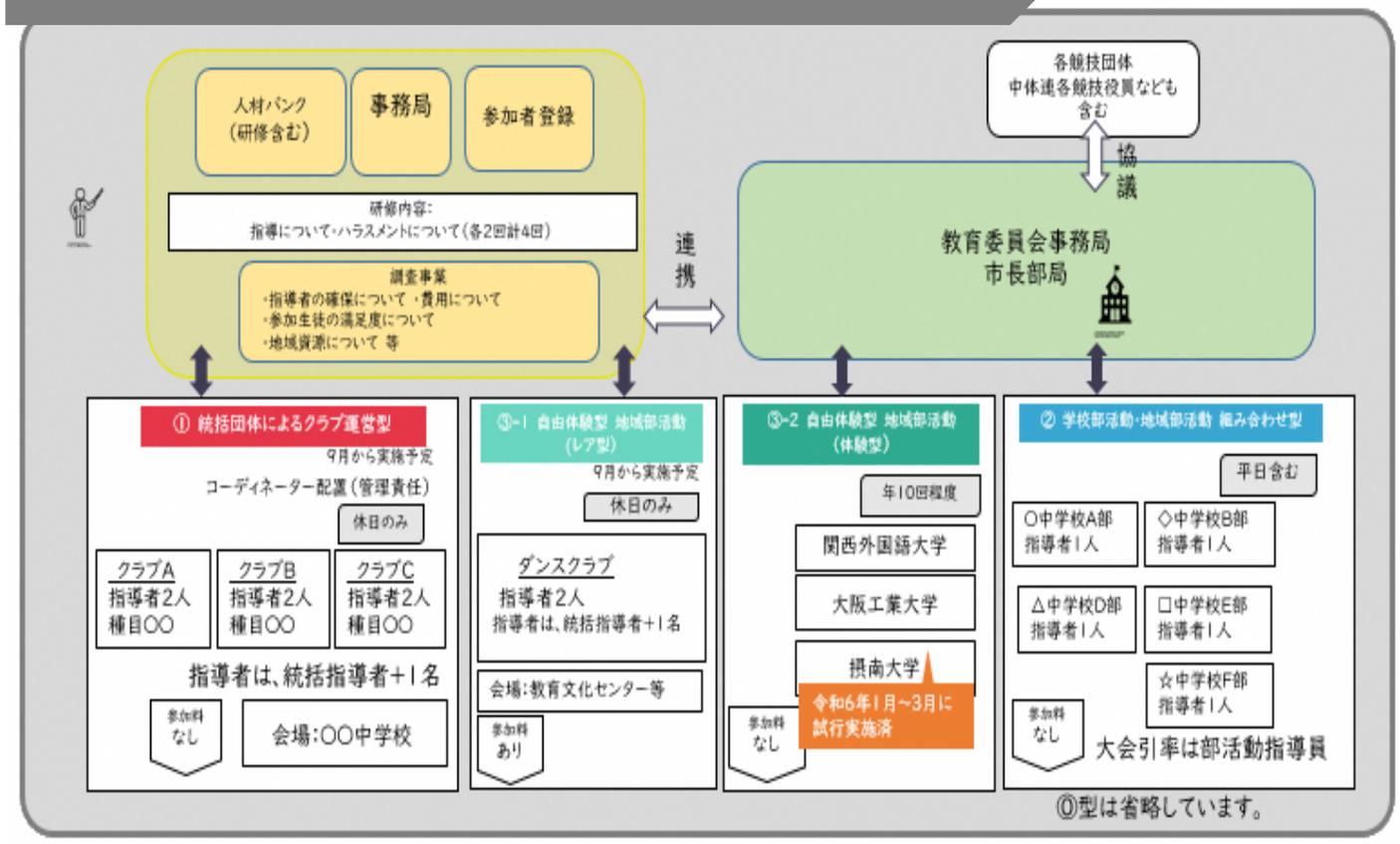
○中学校A部 指導者1人
◇中学校B部 指導者1人
△中学校D部 指導者1人
□中学校E部 指導者1人
☆中学校F部 指導者1人

参加料 なし

大会引率は部活動指導員

◎型は省略しています。

5．令和６年度　試行実施について（再掲）



6．本試行実施で検証する課題

ひらかたモデル策定のための課題
(1)指導者の質の保障・量の確保方策(教員の兼職兼業含む)　(2)スポーツ施設の確保方策　(3)会費の在り方
(4)保険の在り方　(5)保護者・地域への周知方法について　(6)部活動に係る備品について　(7)新たな課題検証

① 統括団体によるクラブ運営型
(1)指導者の質の保障・量の確保方策
(4)保護者・地域への周知方法について
(5)保険の在り方
(6)部活動に係る備品について

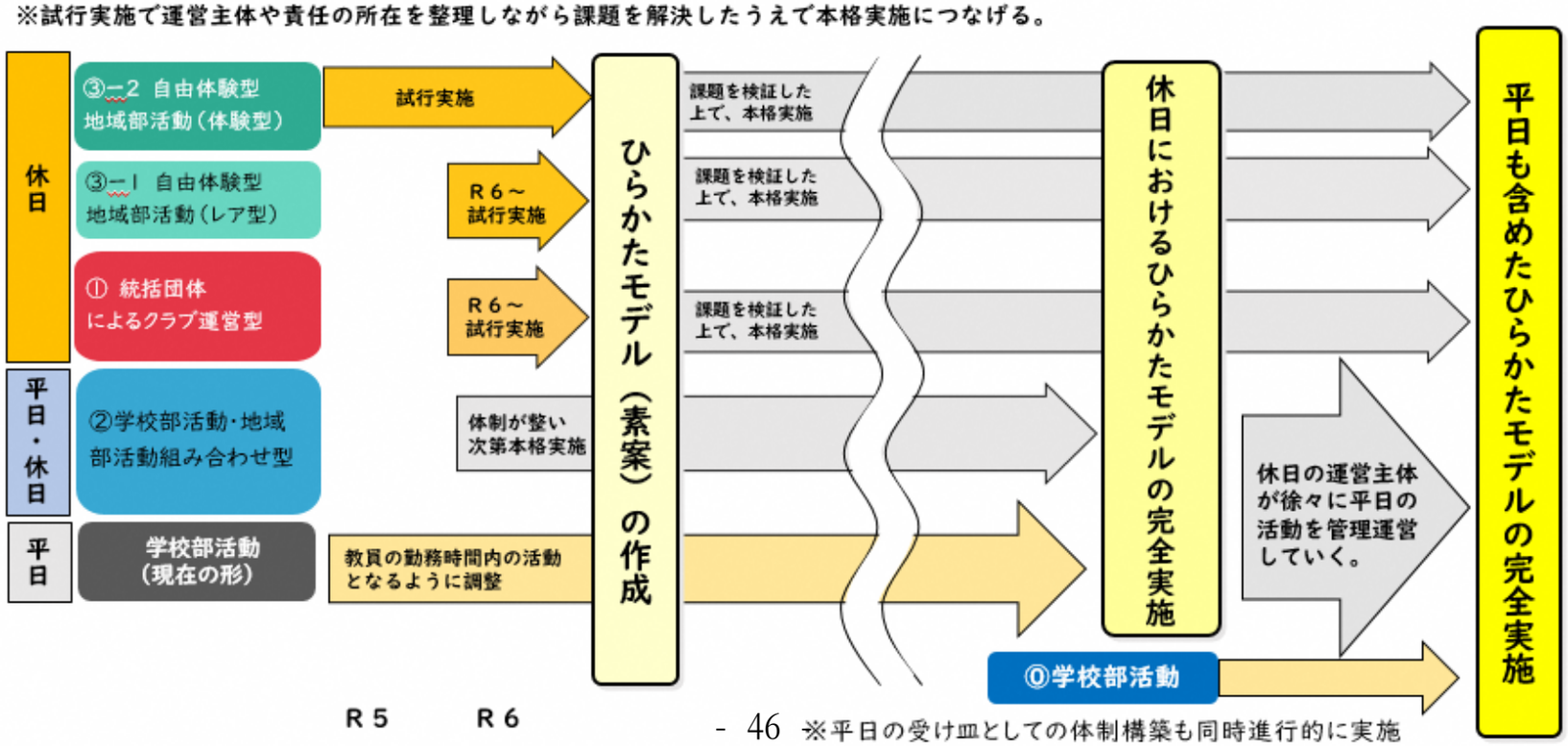
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型
(1)指導者の質の保障・量の確保方策
(4)保護者・地域への周知方法について
(6)部活動に係る備品について

③-1 自由体験型 地域部活動(レア型)
(1)指導者の質の保障・量の確保方策
(2)スポーツ施設の確保方策
(3)費用の在り方
(4)保護者・地域への周知方法について
(5)保険の在り方
(6)部活動に係る備品について

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)
(1)指導者の質の保障・量の確保方策
(2)スポーツ施設の確保方策
(4)保護者・地域への周知方法について
(5)保険の在り方

7．ひらかたモデル策定にむけたロードマップ

※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。



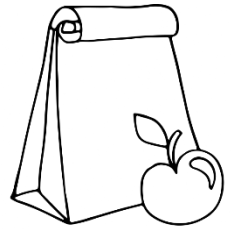
※平日の受け皿としての体制構築も同時進行的に実施

参考資料１

中学部活動に係るアンケート結果

（児童・生徒アンケート）

児童生徒アンケート



部活動に入っている目的

友達と楽しく活動するため　体力・技術を向上させるため

指導者に期待していること

体力・技術が向上できる　部活動をもっと好きになる
専門的な技術指導が受けられる

別の学校の生徒との活動

やってみたいと思う

地域クラブ活動への参加

家の近くなら参加したい

休日にあれば参加したいクラブ

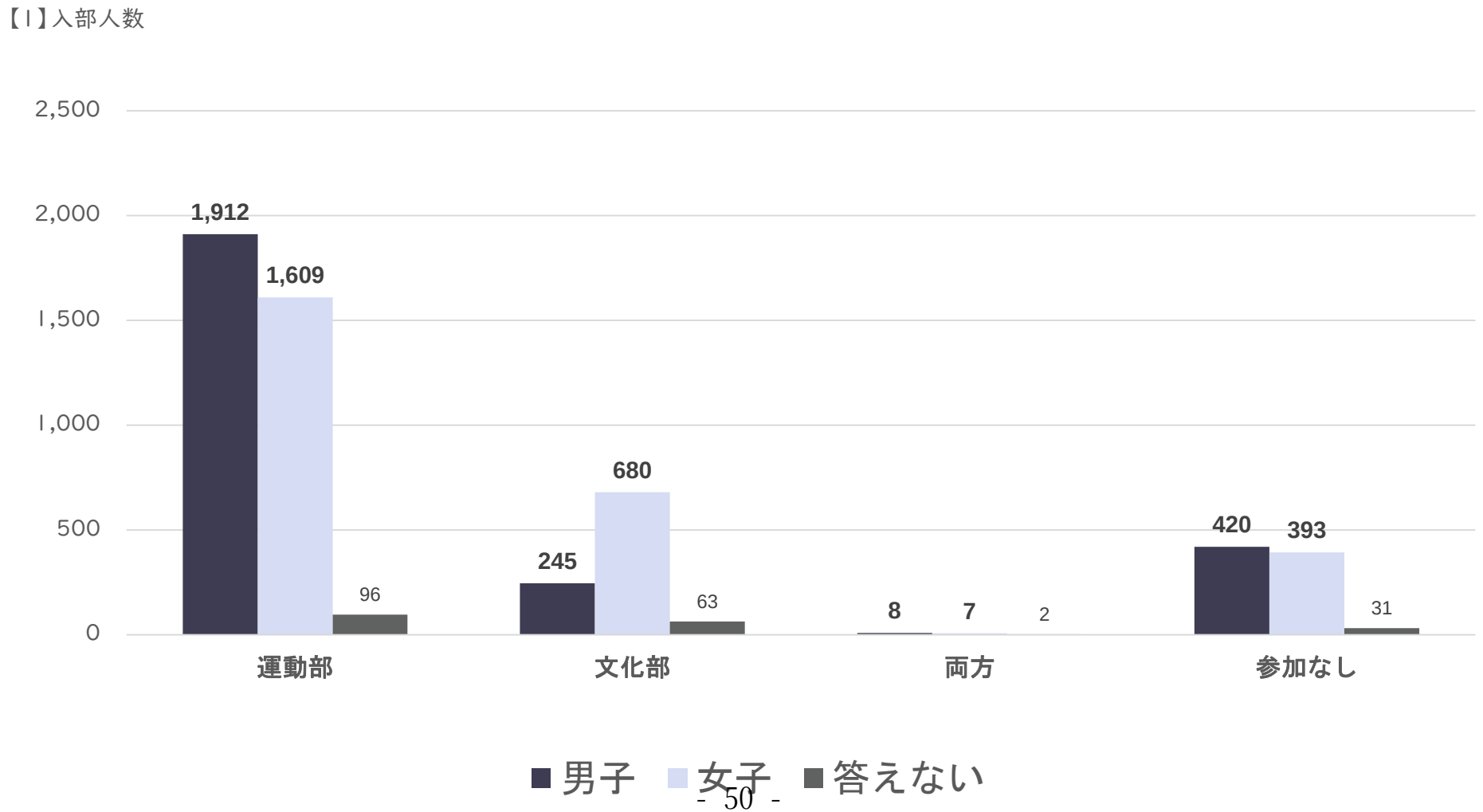
中学生：テニス・バドミントン・漫画アニメ・バスケットボール・ダンス
小学生：漫画アニメ・料理手芸・バドミントン・技術工作・ダンス

1.現行の部活動について
（生徒）

対象者:枚方市立中学校生徒
対象人数:9916人
回答人数:5466人
（回答率:55%）

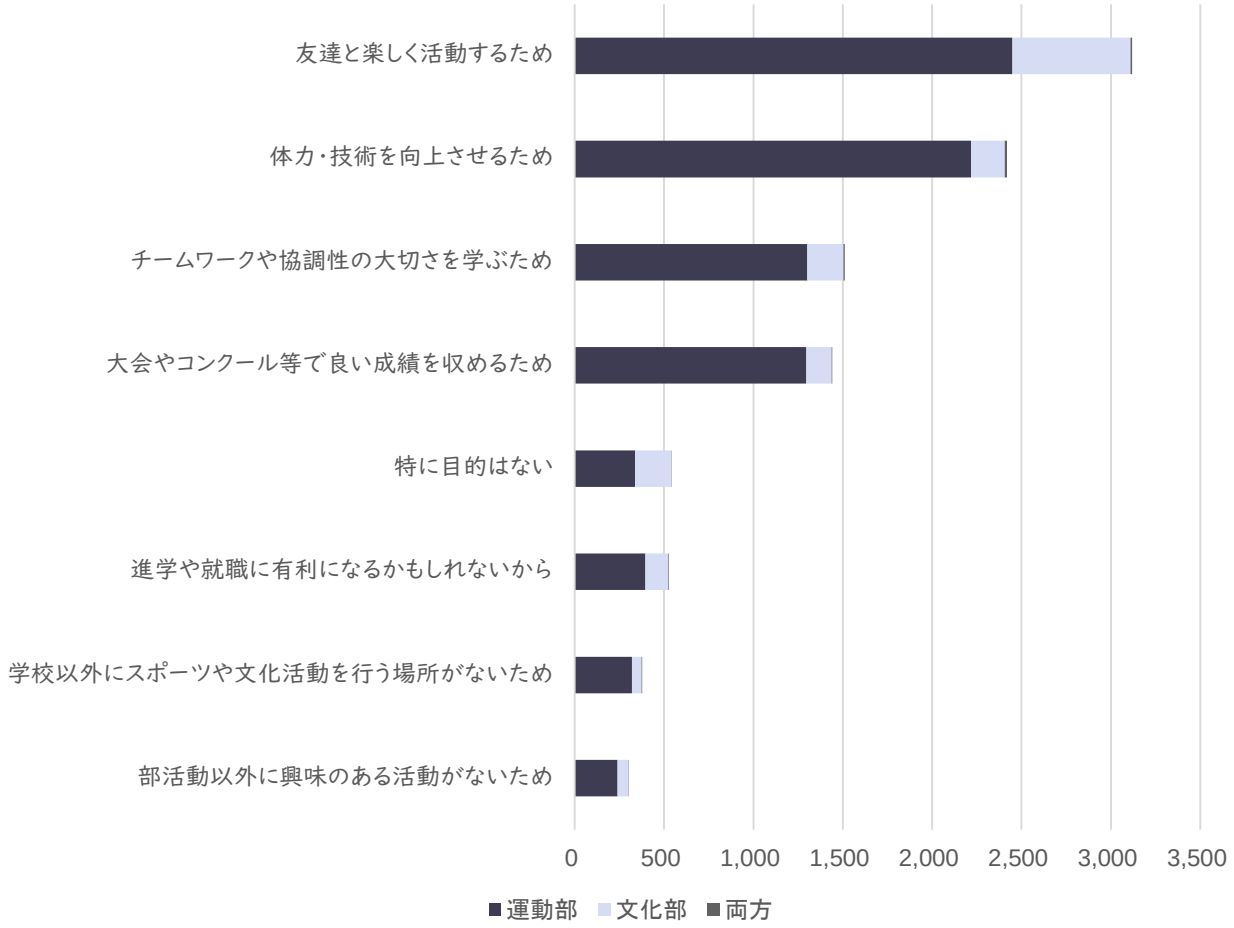
1.現行の部活動について　生徒アンケートより

（1）現在、入部している部活動について（5466件回答）



1.現行の部活動について 生徒アンケートより

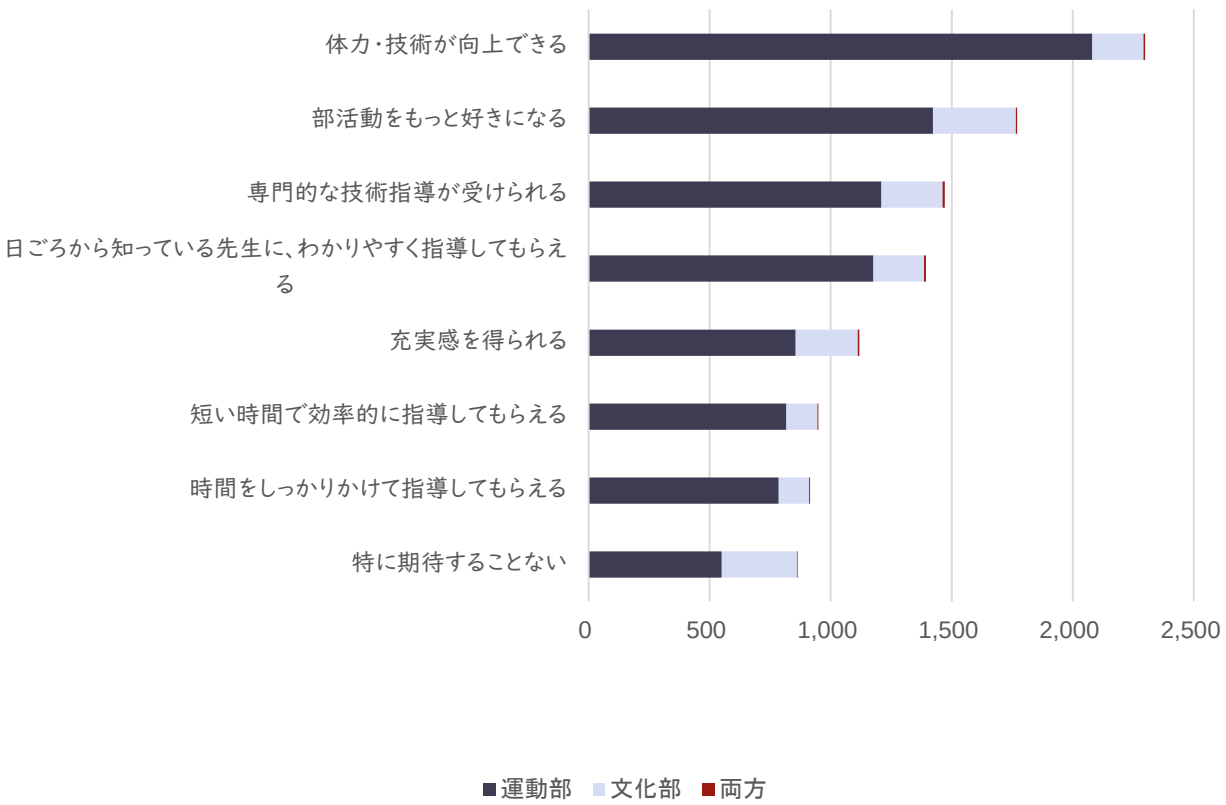
(2)部活動に入っている目的は？（5466件回答）



		運動部	文化部	両方	合計
1	友達と楽しく活動するため	2,450	659	10	3,119
2	体力・技術を向上させるため	2,218	189	11	2,418
3	チームワークや協調性の大切さを学ぶため	1,302	202	7	1,511
4	大会やコンクール等で良い成績を収めるため	1,297	140	5	1,442
5	特に目的はない	338	202	2	542
6	進学や就職に有利になるかもしれないから	395	128	4	527
7	学校以外にスポーツや文化活動を行う場所がないため	321	53	3	377
8	部活動以外に興味のある活動がないため	240	60	3	303

1.現行の部活動について　生徒アンケートより

(3)指導者に何を期待しているか？（5466件回答）

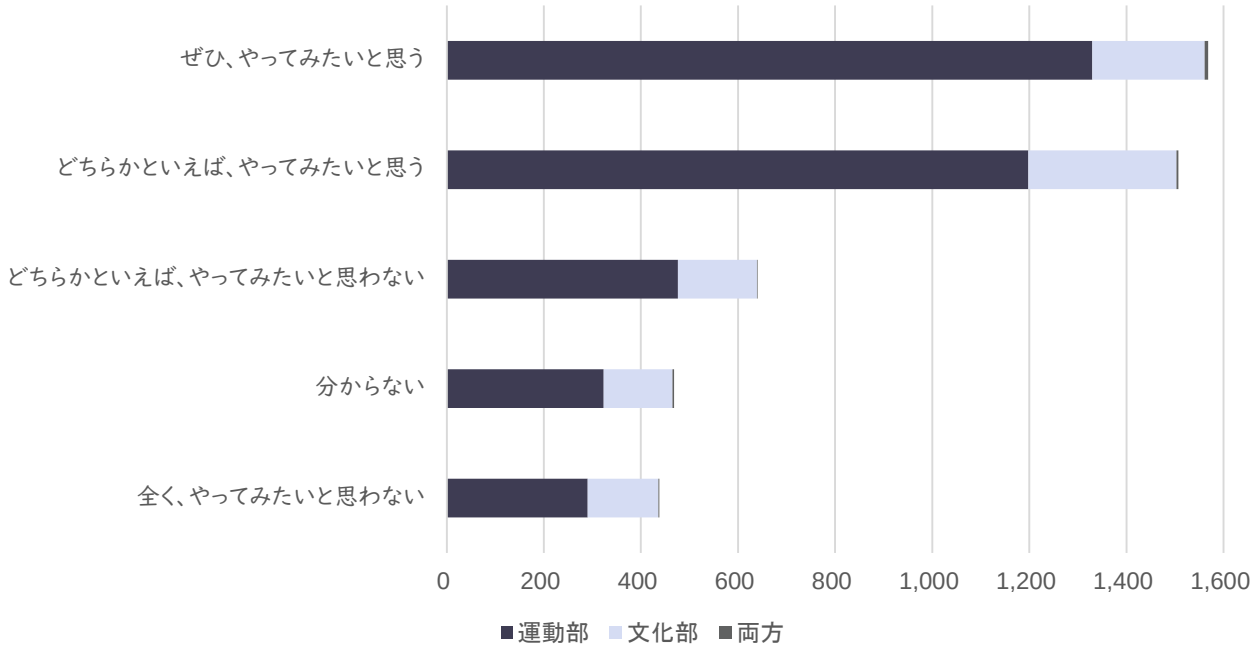


		運動部	文化部	両方	合計
1	体力・技術が向上できる	2,081	211	6	2,298
2	部活動をもっと好きになる	1,422	342	6	1,770
3	専門的な技術指導が受けられる	1,209	253	9	1,471
4	日ごろから知っている先生に、わかりやすく指導してもらえる	1,176	210	7	1,393
5	充実感を得られる	856	256	6	1,118
6	短い時間で効率的に指導してもらえる	817	128	4	949
7	時間をしっかりかけて指導してもらえる	785	126	4	915
8	特に期待することない	550	311	2	863

2. 地域移行に対して
（生徒）

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

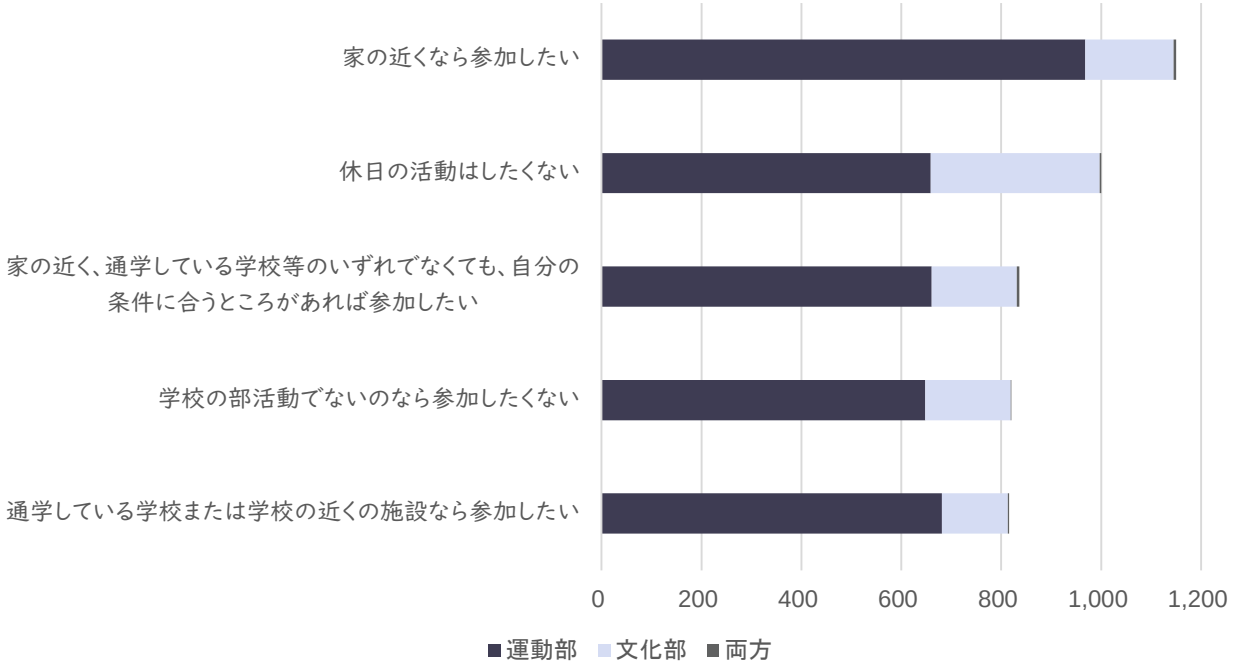
(1)別の学校の生徒と活動することをどう思うか？（4621件回答）



		運動部	文化部	両方	合計
1	ぜひ、やってみたいと思う	1,330	231	7	1,568
2	どちらかといえば、やってみたいと思う	1,198	305	4	1,507
3	どちらかといえば、やってみたいと思わない	476	163	1	640
4	分からない	323	142	3	468
5	全く、やってみたいと思わない	290	146	2	438

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(2) 地域クラブ活動に参加したいか？（5466件回答）

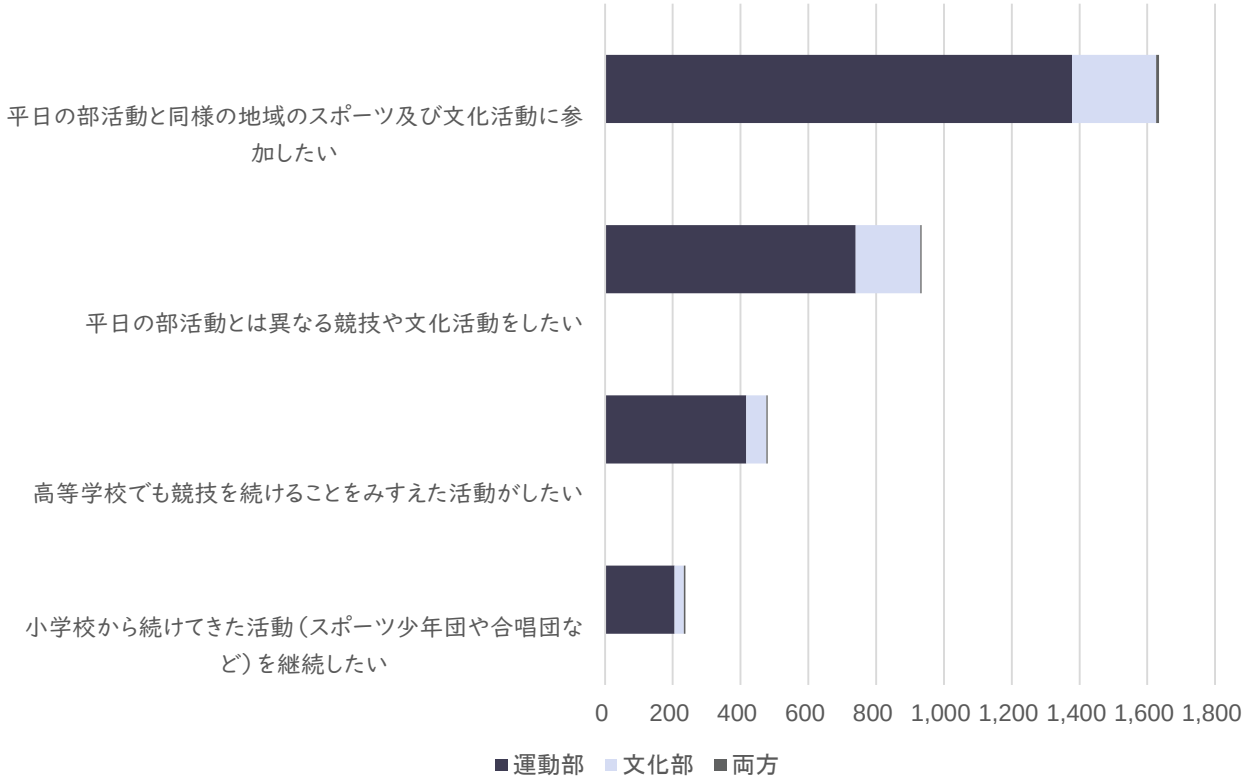


		運動部	文化部	両方	合計
1	家の近くなら参加したい	968	177	5	1,150
2	休日の活動はしたくない	659	338	3	1,000
3	自分の条件に合うところがあれば参加したい	661	170	5	836
4	学校の部活動でないのなら参加したくない	648	171	1	820
5	通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	681	132	3	816

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(3) 地域のクラブで、どのような活動がしたいか？（2802件回答）

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)

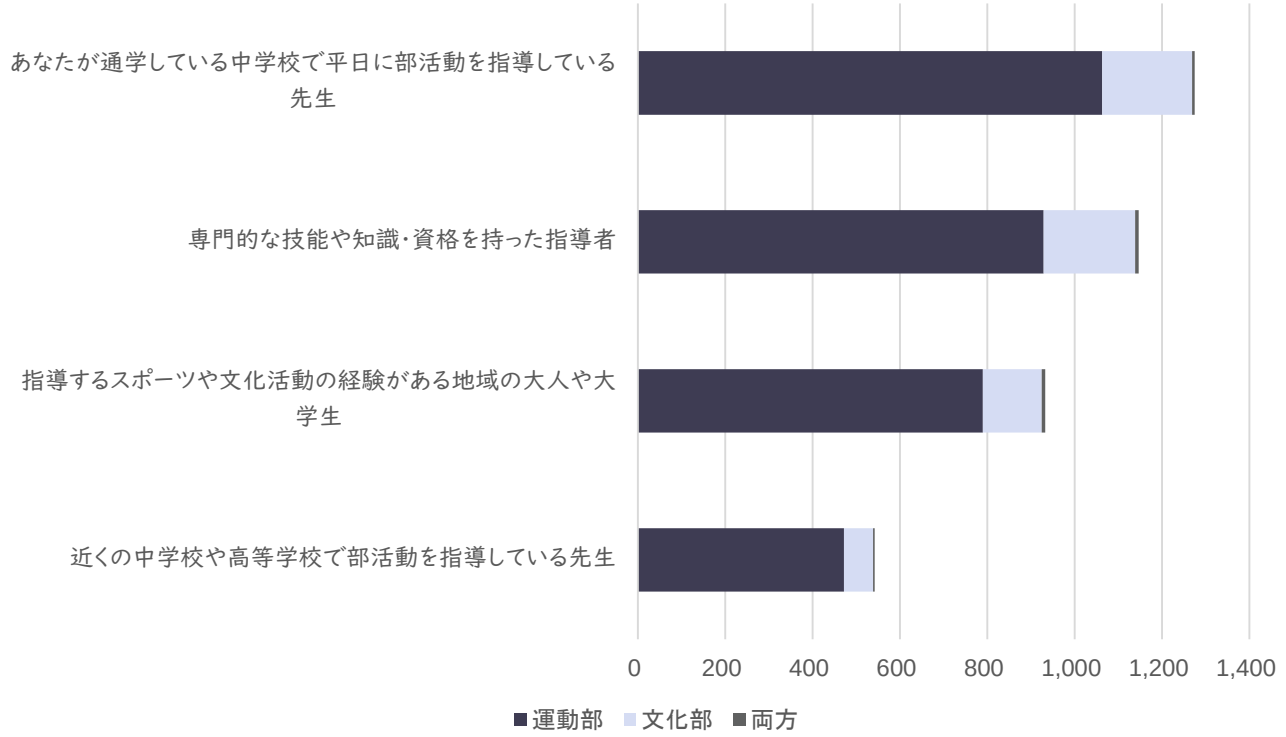


		運動部	文化部	両方	合計
1	平日の部活動と同様の地域のスポーツ及び文化活動に参加したい	1,378	248	9	1,635
2	平日の部活動とは異なる競技や文化活動をしたい	740	190	4	934
3	高等学校でも競技を続けることをみすえた活動がしたい	417	59	4	480
4	小学校から続けてきた活動（スポーツ少年団や合唱団など）を継続したい	205	28	4	237

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(4) 指導者について（2802件回答）

((3)において肯定的回答をした生徒のみ回答)

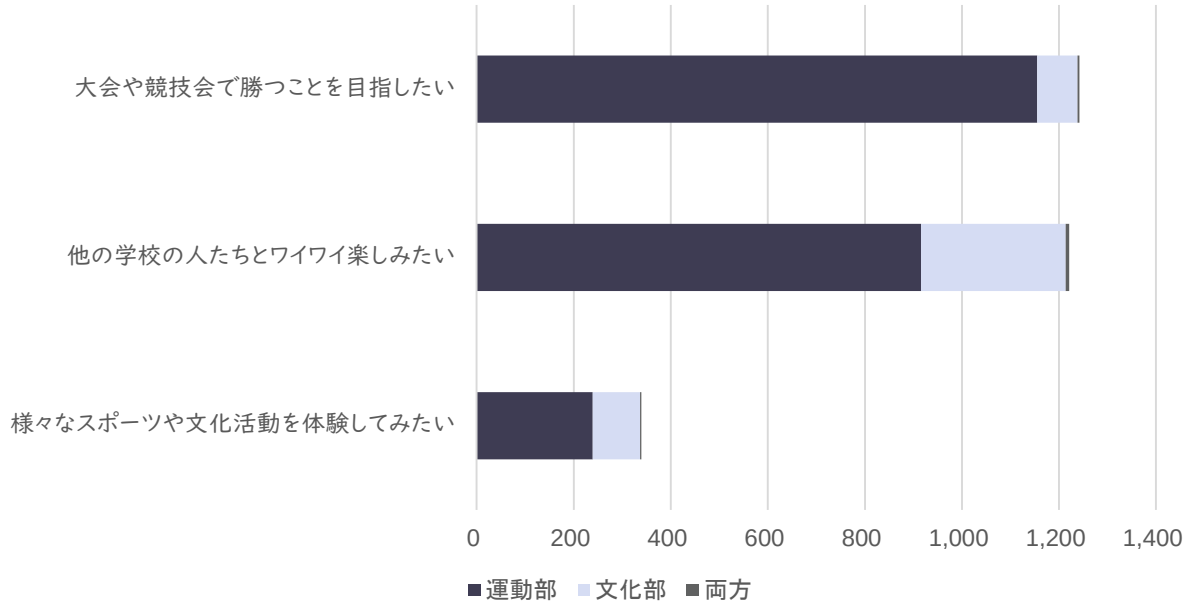


	運動部	文化部	両方	合計
1 あなたが通学している中学校で平日に部活動を指導している先生	1,063	206	6	1,275
2 専門的な技能や知識・資格を持った指導者	929	210	8	1,147
3 指導するスポーツや文化活動の経験がある地域の大人や大学生	790	135	8	933
4 近くの中学校や高等学校で部活動を指導している先生	472	67	3	542

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(5)どのぐらいのレベルを望むか(2802件回答)

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)



		運動部	文化部	両方	合計
1	大会や競技会で勝つことを目指したい	1,155	83	4	1,242
2	他の学校の人たちとワイワイ楽しみたい	916	298	7	1,221
3	様々なスポーツや文化活動を体験してみたい	239	98	2	339

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(6) 休日にあれば活動してみたいクラブは？(2802件回答)

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)

部活名	人数	部活名	人数	部活名	人数
テニス	886	軟式野球	433	ソフトボール	220
バドミントン	875	コンピュータ	429	太鼓	208
漫画・アニメ	810	水泳	427	剣道	202
バスケットボール	793	アーチェリー	414	合唱	202
ダンス	759	空手	347	少林寺拳法	199
バレーボール	734	演劇	327	囲碁・将棋	191
軽音楽・音楽	664	技術・工作	309	ラグビー	189
サッカー	640	プログラミング	303	園芸	187
料理・手芸	637	家庭科	274	そろばん	182
ソフトテニス	634	科学・理科	272	ヨガ	174
ブラスバンド・吹奏楽	534	合気道	265	チアリーディング	171
美術	522	ハンドボール	253	文芸	171
卓球	496	英語	235	グラフィックデザイン	132
茶道・華道	470	フットサル	225	マーチング	113
陸上競技	438	器械体操	223	ボッチャ	96

3.地域移行に対して(児童)
対象者:枚方市立小学校
5･6年生児童
対象人数:6729人
回答人数:4196人
(回答率:62%)

	男子	女子	答えない	合計
5年生	1,048	1,012	89	2,149
6年生	974	1,005	68	2,047
合計	2,022	2,017	157	4,196

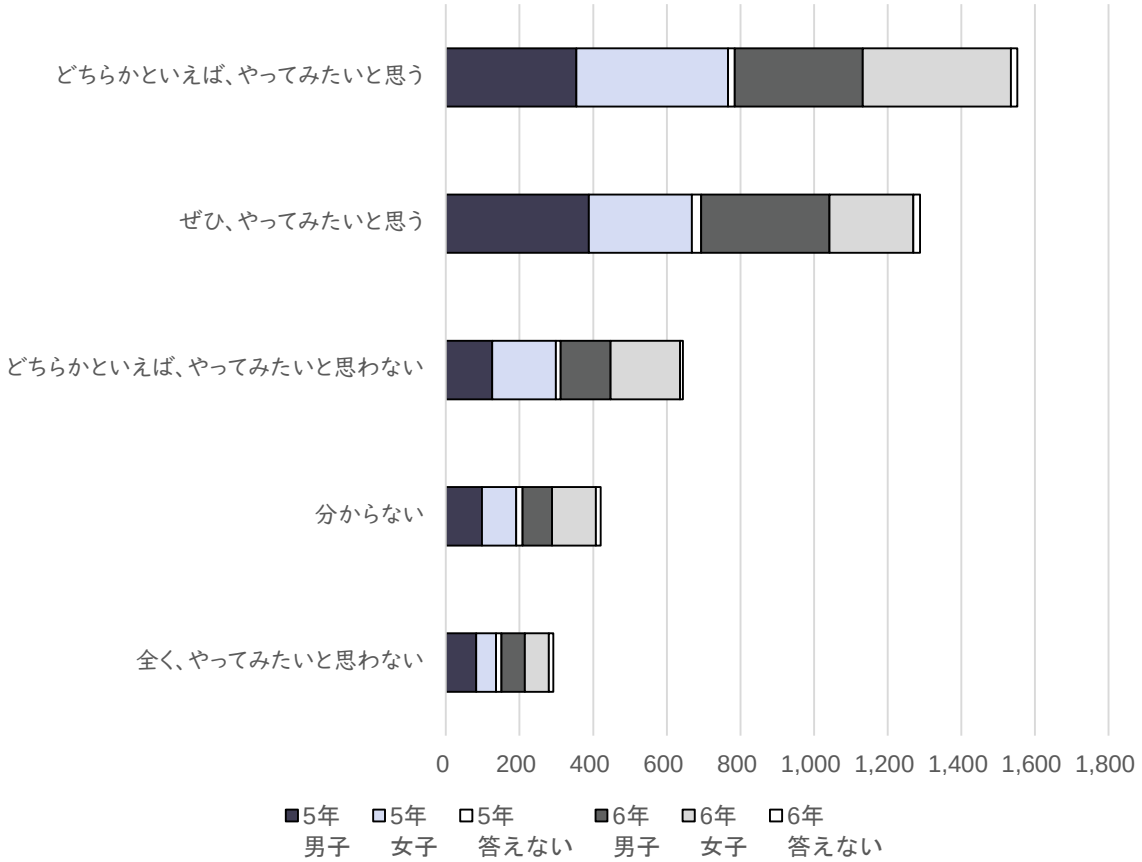
3. 地域移行に対して 児童アンケートより

（1）休日にあれば活動してみたいクラブは？（4196件回答）

部活名	人数	部活名	人数	部活名	人数
マンガ・アニメ	1115	科学・理科	487	ソフトテニス	233
料理・手芸	925	茶道・華道	440	ハンドボール	225
バドミントン	869	陸上競技	430	そろばん	206
技術・工作	771	アーチェリー	431	ヨガ	188
ダンス	702	軽音楽・音楽	414	ボッチャ	188
バスケットボール	658	軟式野球	389	ソフトボール	183
サッカー	640	演劇	328	園芸	159
コンピュータ	651	ブラスバンド（吹奏楽）	305	器械体操	148
テニス	612	空手	302	チアリーディング	130
卓球	599	英語	274	合気道	127
美術	588	剣道	269	文芸	122
バレーボール	551	太鼓	261	ラグビー	116
家庭科	548	合唱	259	グラフィックデザイン	107
水泳	542	フットサル	240	少林寺拳法	74
プログラミング	540	囲碁・将棋	239	マーチング	46

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

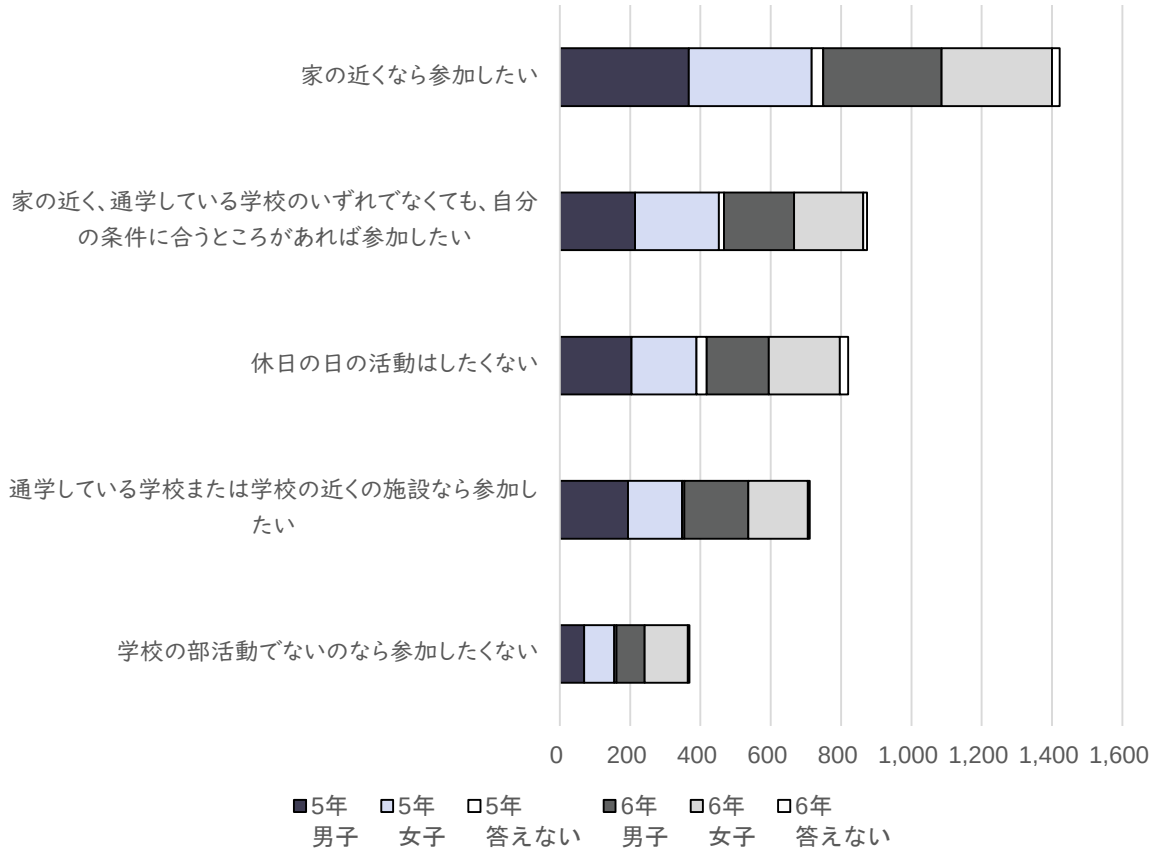
(2) 別の学校の児童と活動することをどう思うか？（4196件回答）



		5年 男子	5年 女子	5年 答えない	6年 男子	6年 女子	6年 答えない	合計
1	どちらかといえば、やってみたいと思う	354	412	19	347	403	17	1,552
2	ぜひ、やってみたいと思う	388	280	25	349	228	18	1,288
3	どちらかといえば、やってみたいと思わない	126	173	13	135	189	8	644
4	分からない	98	93	17	80	119	13	420
5	全く、やってみたいと思わない	82	54	15	63	66	12	292

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

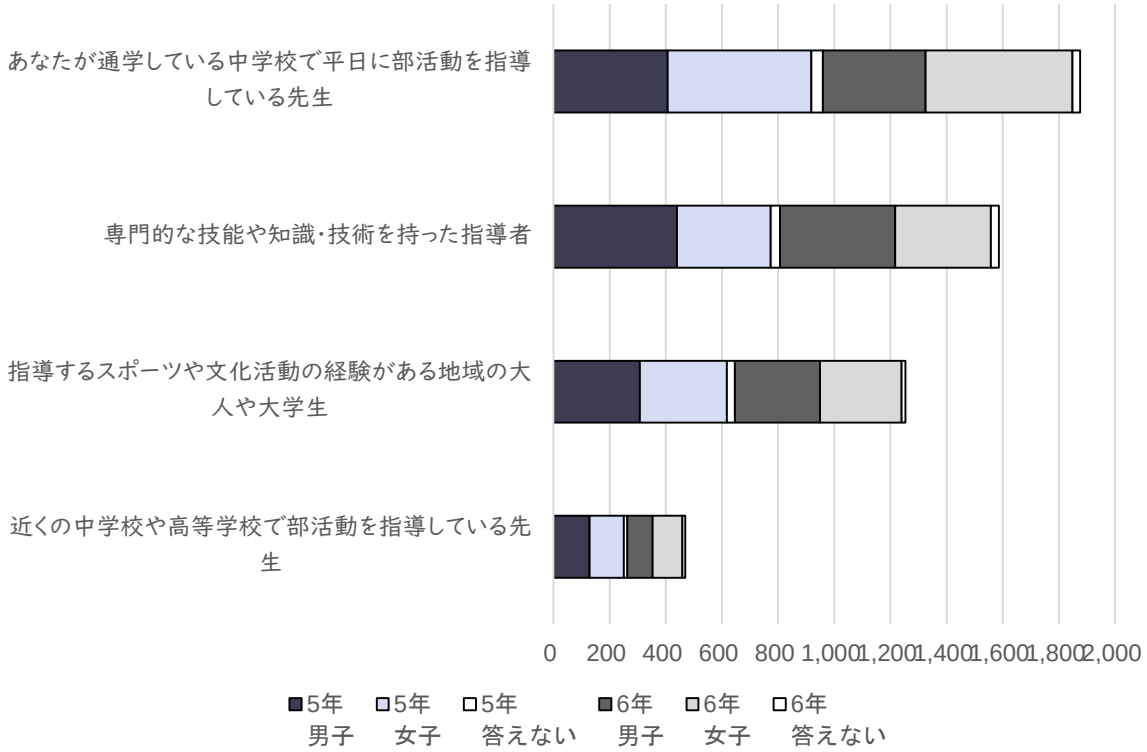
(3) 地域のクラブの活動に参加したいか？（4196件回答）



		5年 男子	5年 女子	5年 答えない	6年 男子	6年 女子	6年 答えない	合計
1	家の近くなら参加したい	367	349	33	337	314	22	1,422
2	自分の条件に合うところがあれば参加したい	214	238	15	199	197	11	874
3	休日の日の活動はしたくない	204	185	29	176	202	24	820
4	通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	194	154	6	182	169	6	711
5	学校の部活動でないのなら参加したくない	69	86	6	80	123	5	369

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

(4)指導者について？（4196件回答）



		5年 男子	5年 女子	5年 答えない	6年 男子	6年 女子	6年 答えない	合計
1	あなたが通学している中学校で平日に部活動を指導している先生	407	511	41	366	523	28	1,876
2	専門的な技能や知識・技術を持った指導者	440	334	33	410	341	28	1,586
3	指導するスポーツや文化活動の経験がある地域の大人や大学生	307	310	29	303	291	13	1,253
4	近くの中学校や高等学校で部活動を指導している先生	129	122	12	90	106	10	469

参考資料2

令和6年1月～3月の試行実施について

ひらかたモデルにおけるマトリクス（案）

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	参加者の費用負担		責任の所在
				参加費	保険料	
①　統括団体によるクラブ運営型 統括団体により地域クラブを運営していく形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	・各学校 ・拠点校 ・外部施設等	・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業	検討課題	検討課題	検討課題
③－１　自由体験型　地域部活動（レア型） 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	外部施設等	・団体の専門人材 ・有資格の外部人材 ・教員の兼業			
②　学校部活動・地域部活動組み合わせ型 現在の部活動に外部指導者を派遣する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	有資格の外部人材	無料	なし	学校
③－２　自由体験型　地域部活動（体験型） 大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	大学等	学生等	無料 （市の負担）	年800円 （参加者の負担）※	当面は市 （詳細は大学とも調整）
⓪　授業の延長的活動型　学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	教員	無料	なし	学校

※③－２自由体験型　地域部活動（体験型）の１～３月の試行実施については、保険料は市が負担する。

本試行実施で検証すべき課題

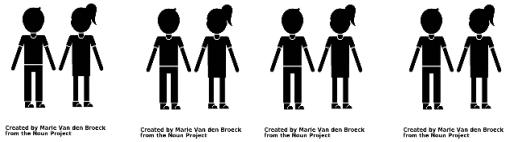
（1）指導者の質の保障・量の確保方策：大学生の指導者としての可能性
（2）スポーツ施設の確保方策：大学での活動の実施について
（3）保護者・地域への周知方法について：チラシ等を使った周知の妥当性
（4）保険の在り方：保険の適用範囲の妥当性

③－２ 自由体験型 地域部活動（体験型）

大学生

○ 内容は、大学生がPBLとして活動内容を検討

○ 活動前に、市教委主催の事前研修を受講



大学との連携

枚方英語村 子ども大学探検隊 ひらかた市民大学
中高生を対象とした大学体験事業
関西外大駅伝部の小学生対象の陸上体験教室 など

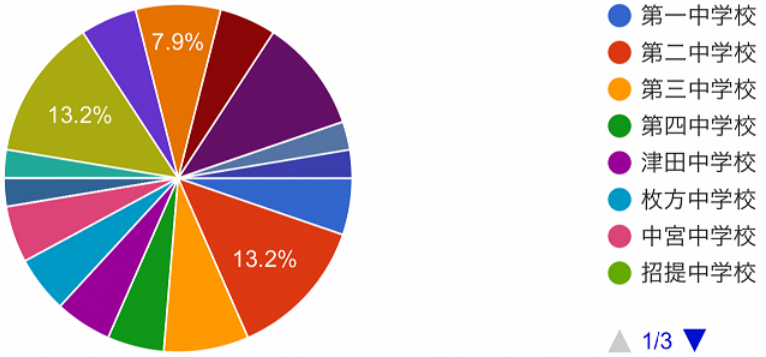
参加中学生

○ 市内中学生が希望するクラブに参加できる。（１回だけでも可）

○ 活動に係る保険料は無料
（次年度以降は検討事項）

○ 活動場所までは、保護者責任のもと移動

申し込み状況



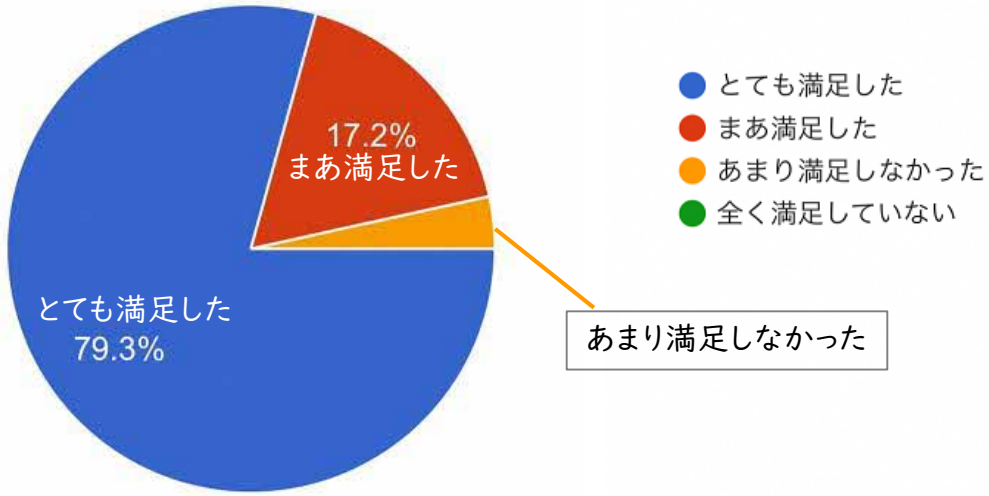
16校からのべ87人が申し込み

※斜線部は実施なし

	1月20日	2月3日	2月10日	2月17日	2月24日	3月2日	3月16日
関西外国語大学　女子駅伝部	17人			2人			14人
関西外国語大学　枚方English Village					22人		
大阪工業大学　ジャグリング部			2人	1人		3人	
大阪工業大学　ドローンプロジェクト			3人	7人		8人	
摂南大学　ダンス部枚方支部 LUFF　Style		1人					
摂南大学　園芸倶楽部（植食）			3人	2人		2人	

活動後のアンケート

活動の満足度

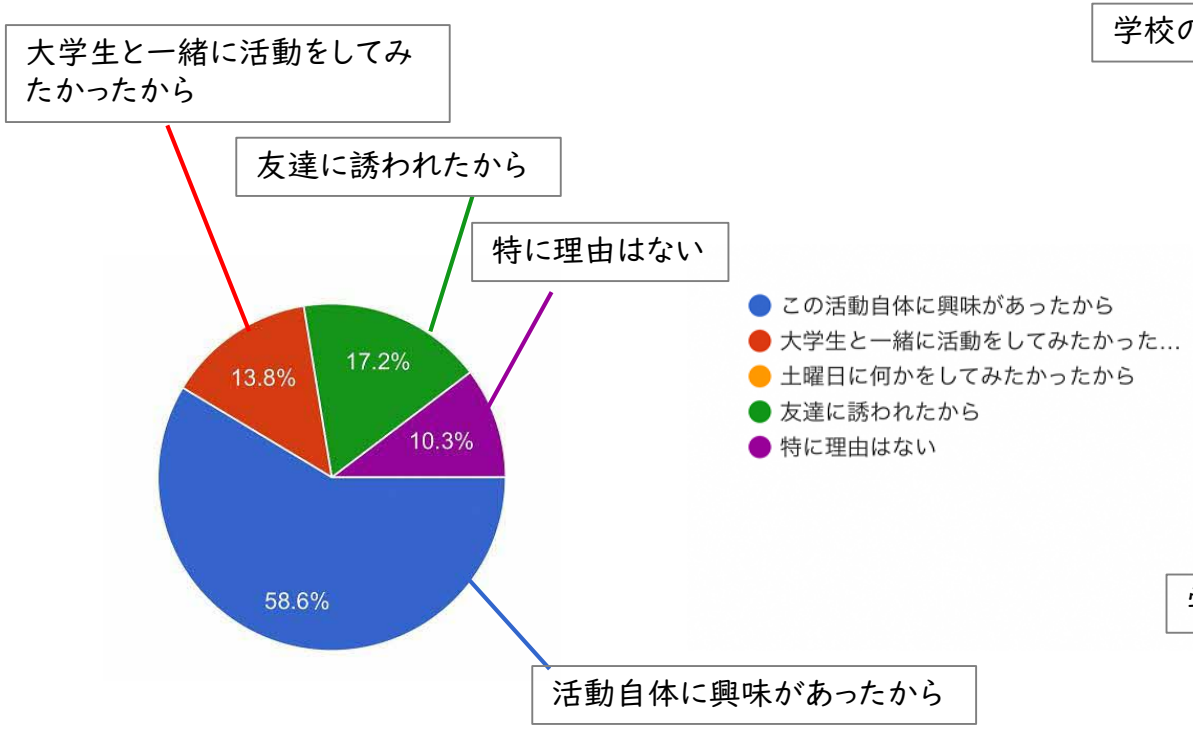


アンケート回収数29人

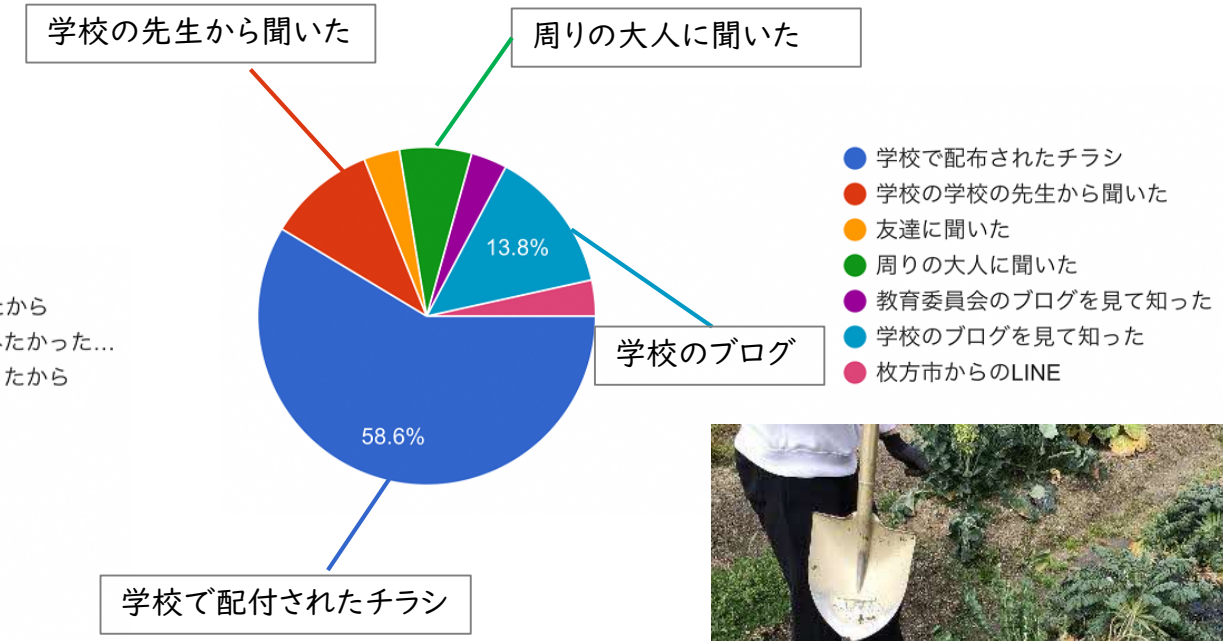
・他の学校の人や大学生や同じ学校の人と遊べて楽しかったから。
・普段あまり外に出ないので、自然に触れたことが楽しかった。
・専門的な知識や徐々に難しくなっていく課題が、学ぶ上でとてもためになった。
・普段の生活では触れることのないジャグリングの道具を体験できてワクワクばかりだった。
・自分がやりたかった農業の体験をできたからとても満足した。
・花を植えたりするのが初めてで楽しかったから。
・工程の計画不足

活動後のアンケート

参加した理由



活動を知った理由



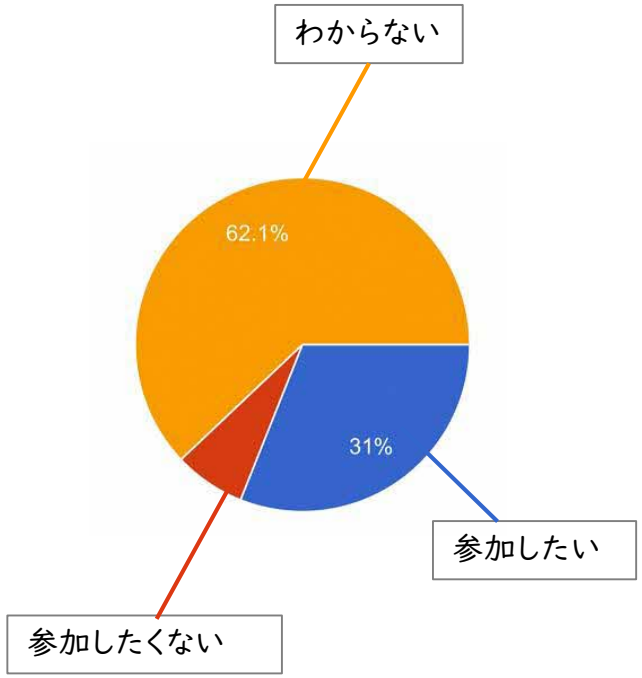
活動後のアンケート

また参加したいか

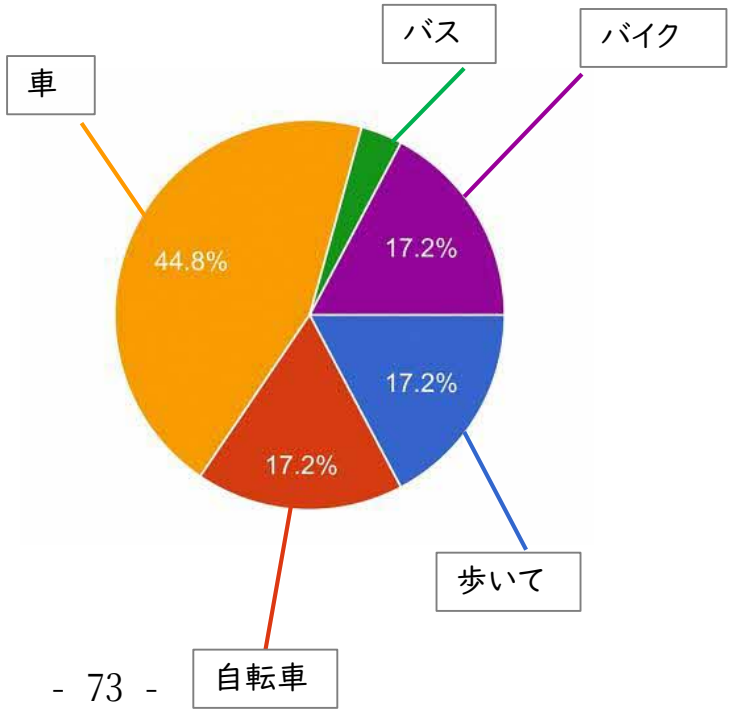
・大学生のみんなと一緒に練習できるのは貴重な機会だから
・またいろいろな長距離ができるから
・面白いから
・大学の雰囲気や教え方の工夫が興味深かったから
・いろいろなことを体験したいから
・体験してみないと伝わらないような技術の難しさがあり、学ぶことがあったから

活動後のアンケート

保険料（800円）が
自己負担でも参加したいか



会場への移動手段



活動後のアンケート

活動についての感想

・やったことがなかったので興味がわくかわからなかったが、丁寧に教えてもらってだんだんできるようになってよかった。

・学校の先生に行ってみたらと言われて行くことにしたが、一緒に行く友達はいないし、初対面が苦手なので不安だったけど、大学生の人たちが積極的に話しかけてきてくれて何とか会話ができたのが印象に残っている。

活動後のアンケート

活動についての感想

・はじめは緊張したけど大学生が優しくて、すぐに楽しくなった。
・来る前はちゃんと話せるかなど緊張したが、終わった後は
来てよかったと心から思えるものだった。
・来る前は自分は体力に自信がなく、迷惑をかけないかすごく
心配だったが、大学生が途中休憩を入れてくれたり気遣って
くれたので、集中して練習でき、技などができるようになった。
達成感のほかに様々な思い出ができてよかった。

本試行実施での課題検証

（1）指導者の質の保障・量の確保方策：大学生の指導者としての可能性

① 中学生にとって、大学生と活動することは想定よりもハードルが高いように感じているようで、初めの一歩が踏み出せないと感じた。

→ 大学生によるPR動画を作成するなど、より身近に感じてもらう工夫が必要。

② 研修については、本試行実施は事務局作成動画を視聴したうえで指導にあたっている。

→ 令和6年度は大阪体育大学の小林准教授に研修講師を依頼。

本試行実施での課題検証

(2)スポーツ施設の確保方策:大学での活動の実施について

アンケート結果から、生徒は自分の家の近くで活動したいというニーズが強いことがわかった。

→中学校などに大学生に出張してもらっての活動もあると良いと感じた。

		運動部	文化部	両方	合計
1	家の近くなら参加したい	968	177	5	1,150
2	休日の活動はしたくない	659	338	3	1,000
3	自分の条件に合うところがあれば参加したい	661	170	5	836
4	学校の部活動でないのなら参加したくない	648	171	1	820
5	通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	681	132	3	816

本試行実施での課題検証

（3）保護者・地域への周知方法について：チラシ等を使った周知の妥当性

本試行実施における周知方法

①全生徒へのポスター配付

②各教室（1.2年）へのポスター掲示

③教員からの働きかけ

④市教委ブログでの発信、

⑤GIGAフェスでのポスター配付

⑥市SNS（LINE、facebook)での発信

→ 生徒の目に触れるとともにいかに保護者の目に触れるかということが重要と感じた。

本試行実施での課題検証

（4）保険の在り方：保険の適用範囲の妥当性

中学生及び地域クラブ活動指導者の団体活動のための保険

適用範囲　・団体の管理下による団体活動中の事故
　　・団体が指定する集合、解散場所と被保険者の自宅との通常の往復中の事故

年間保険料　800円

→来場した保護者への聞き取りでは、1回だけの保険料としては割高だが、複数回参加できる活動であれば妥当であるとの回答が多かった。

本試行実施での課題検証

（その他）日程について

土曜日の午前、または午後を設定したが、そもそも運動部は土曜日は学校部活動があることが多い。

→　日曜日にすることも選択肢の一つだが、大学側との折衝が必要

（その他）活動内容について

今回は体験型ということで、1回で完結する活動とした。（園芸を除く）

→　生徒のニーズとして、ある程度の技術の向上をめざしていることも考えられる。

令和6年度 ③－2 自由体験型 地域部活動（体験型）（案）

関西外国語大学　大阪工業大学　摂南大学

クラブの大学生　クラブの大学生　クラブの大学生　クラブの大学生　クラブの大学生　クラブの大学生

大阪体育大学小林准教授によるオンライン指導者研修

覚書の締結

各クラブ年10回～12回程度を大学生がマネジメントして行う
会場は各大学及び市内中学校での実施も

3回1クールのものを4回実施

枚方市

広報ひらかた・市SNSなどで定期的な周知

令和5年度参加者のインタビュー動画
大学生によるPR動画作成

対象：枚方市立学校在籍の小学校5年生から中学校3年生
（保護者も体験できるプログラムをつくる）

試行実施を検証の上、6月ごろから先行実施予定

参考資料3

枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ

令和5年度懇話会委員

1	こばやし ひろたか 小林 博隆	大阪体育大学 准教授
2	くさべ まさかず 草部 正和	枚方市スポーツ推進委員代表
3	せき あきら 関 煇	枚方市スポーツ少年団代表
4	はなさき ともゆき 花﨑 知行	枚方市中学校体育連盟代表 枚方市立楠葉中学校長
5	はぎはら まさや 萩原 雅也	大阪樟蔭女子大学 教授
6	なんぶ きよし 南部 潔	関西外国語大学 教授
7	あかい まなぶ 赤井 学	枚方市中学校文化系部活動代表
8	わたなべ あきの 渡邉 愛乃	枚方市立小学校PTA代表者
9	まきむら たけし 牧村 剛	枚方市立中学校PTA代表者
10	にしむら ひでさと 西村 英理	枚方市立東香里小学校長
11	たなか ひろし 田中 博	枚方市立第三中学校長

第1回懇話会（令和5年6月7日）
案件
- ○ 部活動の地域移行についての国の動向と枚方市の部活動の現状について
- ○ 枚方市中学校部活動の在り方について

第2回懇話会（令和5年8月3日）
案件
- ○ アンケートについて
- ○ 持続可能阿地域部活動「ひらかたモデル」策定に向けて

第3回懇話会（令和5年11月2日）
案件
- ○ アンケートについて
- ○ ひらかたモデル策定に向けて
- ○ 施行実施について

第4回懇話会（令和6年2月27日）
案件
- ○ 視察報告について
- ○ アンケートについて
- ○ 自由体験型地域部活動（体験型）の試行実施について
- ○ ひらかたモデル策定に向けて

【コーディネーター等】
・事件・事故を未然に防ぐという視点から、特定の種目に対する指導者だけでなく、各活動場所にコーディネーター等を置くと良い。
・指導者を統括しサポートする団体の責任者・管理者の役割が重要になってくる。→いずれのクラブも複数指導体制とし、①の型の学校にはコーディネーターを配置
【指導者】
・参加する生徒にとって平日及び休日の活動方針が共通していないと混乱をきたすのではないか。
・指導者間の生徒も含めた情報共有は重要になってくる。→コーディネーターが平日の指導者と休日の指導者をつなぎ、活動方針や練習方法を共有する仕組みづくり
・休日における地域クラブでの指導を、部活動としての平日の練習に活用している例もある。→ニーズがあれば休日の指導を平日の練習にも生かす仕組の構築
【研修】
・指導者の方に虐待防止条例や最新の指導方法、救急時の対応などを知る機会を作ってほしい。
・資格の制度を見直し、適切な指導者を選考、配置していった方が良い。→各指導者に4回の研修を実施
【受け皿】
・まずは多くの受け皿を用意し、生徒の受け入れ態勢ができた種目から移行していくことが現実的だと思う。
・学校部活動にはない競技を希望する子どもたちの為の地域移行はあって良い。→③ー1型として、既存の学校部活動以外で一番ニーズの高かったダンスクラブを設置